Canon
PUB. DIJ-0360-000
HDビデオカメラ
iVIS HF R21
iVIS HF R200
使用説明書
CANON
iMAGE
GATEWAY
AVCHD
HDMI

アイビス
iVISを使って

# 楽しく作ろう!! 思い出ライブラリー

入学式でのキリッとした横顔。
一等賞をもらったうれしそうな笑顔。
旅先で出合った景色、人、味覚。
心をくすぐる瞬間をiVISに収めましょう。

## オート こだわりオート で美しく撮る 42

どんな撮影シーンでも、
カメラにおまかせで、
きれいに撮れます。

今まではココが違う！

## メモリーは軽い!スゴい!!

### 1 買ったその日から撮れる 10

32GBの内蔵メモリー*に、標準画質SPモードで約9時間35分、買ったその日から、家族の笑顔が残せます。

*HF R21の場合。HF R200は
SD/SDHC/SDXCカードが必要です。

## デコレーションして楽しむ…141

撮りながら飾る

手描きの文字やイラスト、スタンプで撮影中の動画を鮮やかに飾れます。

## 海外でも安心……242

世界の電圧/周波数に対応

変換プラグがあれば、どこでも充電可能です。一部の国では、そのままテレビにつないで見ることができます。

## 顔を検出して撮る……87

フェイスキャッチ&追尾

顔へのピントや明るさを自動調整。狙った人物を逃しません。

## 音楽と一緒に再生する…130

ビデオスナップ

印象的な場面を4秒ごとのシーンで撮影。撮りためて、音楽とともにドラマチックに再生できます。

## 2 一覧画面から一発再生……56

見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻し、早送りで頭出しする手間は一切不要。インデックス画面からパッと選んで一発再生です。

## 3 パソコンで保存や編集……178

PIXELA社製ソフトウェアでは動画、フォトアプリケーションでは静止画のパソコンへの保存や管理などができます。詳しくは各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

## 4 いろいろな残し方…168

ディスク作成やDVDレコーダーなどへのダビング、Webサイトへのアップロードなど、お好みの残しかたを選べます。

# CONTENTS

もくじ

ZOO
MAP

# CONTENTS

もくじ

Chapter 4

## 写真



Chapter 5

## 保存/共有

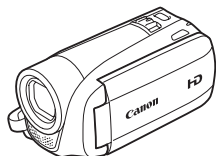
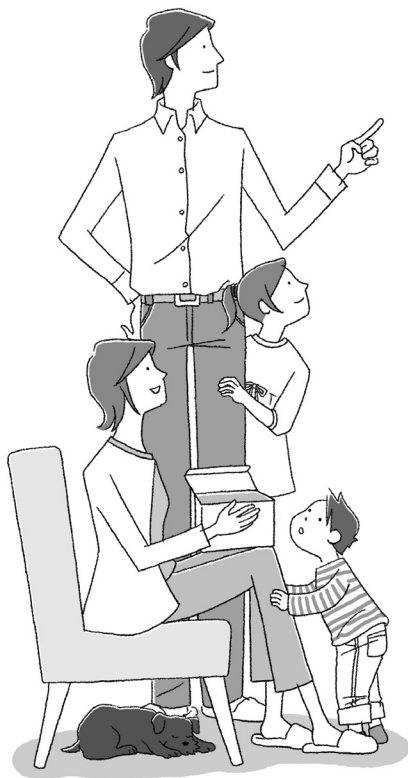


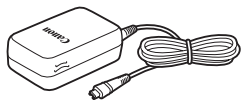
Chapter 6

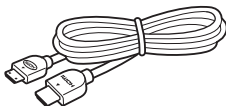
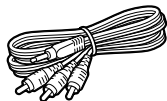
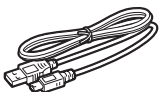
## ふろく

# やりたいこと目次

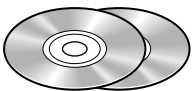
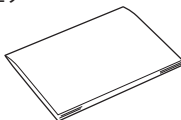
# そろっていますか？

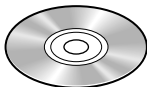
箱の中に次のものが入っているかチェックしましょう。

ビデオカメラ本体

バッテリーパック BP-110

コンパクトパワーアダプター
CA-110

スタイラスペン

HDMIケーブル HTC-100/S

ステレオビデオケーブル
STV-250N

USBケーブル IFC-300PCU/S

iVIS HF R21/iVIS HF R200
使用説明書（本書）

## 動画用ソフトウェア

PIXELA社製 Transfer Utility/VideoBrowser
（動画の保存、管理、編集、再生用）

PIXELA社製 Transfer Utility/VideoBrowser
インストールガイド

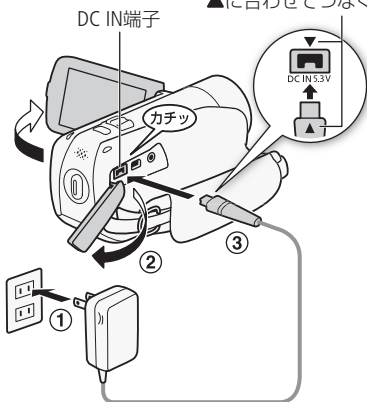
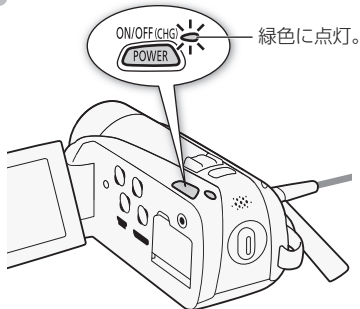
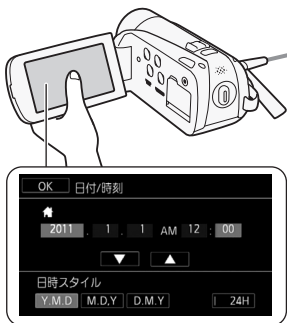
## 静止画用ソフトウェア

フォトアプリケーション Ver. 35／
音楽データ／画像ミックスデータディスク*
（静止画の保存、管理、印刷用）

このディスクに入っている音楽データは、付属のPIXELA社製ソフトでのみ使用できます。CDプレーヤーでは再生できません。
詳しくはTransfer Utility/VideoBrowser取扱説明書（PDF）をご覧ください。

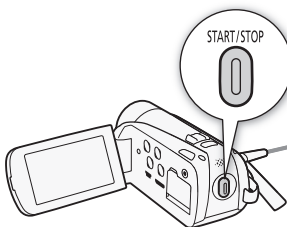
* 説明書が PDFデータとして入っています。

# さっそく撮ってみよう

箱から出して、今すぐ撮影してみたい----という方のために一通りの操作を説明します。まずは内蔵メモリー*やカードに気楽に撮ってみましょう。

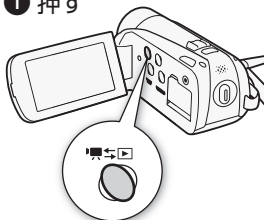
* HF R21 の場合。

## 3 時計を合わせる

❶ 年の数字にタッチして
[▲] [▼] で選ぶ。
- 月、日、時刻も同様に操作する。

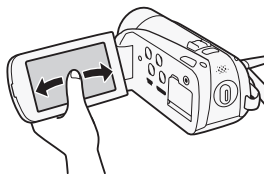
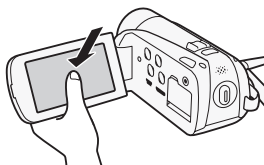
❷ 「OK」をタッチする。

## 4 押す ▶ 撮影開始！

- もう一度押すと撮影終了

### 映像を再生してみよう

電源を切らずにそのまま操作できます。

❶ 押す

❷ 見たいシーンを選ぶ

- タッチしたまま左右に動かす。

❸ 再生したいシーンをタッチする
▶ 再生開始！

- 再生を終えるときは液晶画面をタッチ→ [■] をタッチする。

# ハイビジョンを楽しもう

本機は高精細なハイビジョン映像を撮影することができます。写真は、説明のためのイメージ写真です。

## ハイビジョンは美しい

ハイビジョン画質 1920×1080画素＊1

1080本

約6倍 全体画素数

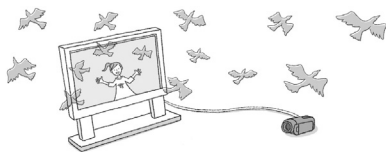
約2倍 有効走査線数

髪の毛一本までクッキリと再現

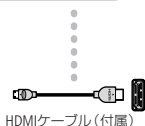
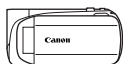
標準画質（従来） 720×480画素

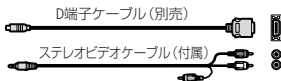
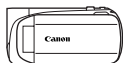
480本

フルHD CMOSセンサーによって、フルハイビジョン（水平1920×垂直1080画素）で映像を記録＊1しますので、すみずみまで精細な美しさを再現します。

＊1 録画モードがMXPとFXPの場合。他の画質では、水平1440×垂直1080画素で記録します。

# ハイビジョンテレビで再生

## HDMI™端子のあるハイビジョンテレビで見る ハイビジョン画質

HDMIケーブル(付属)でつなぐだけ。もっとも美しく、カンタンにハイビジョン映像をお楽しみいただけます。

## ハイビジョンテレビで見る ハイビジョン画質

別売のD端子ケーブルとステレオビデオケーブルでつないでハイビジョン映像を再生できます。

HDMI端子がない
ハイビジョンテレビ

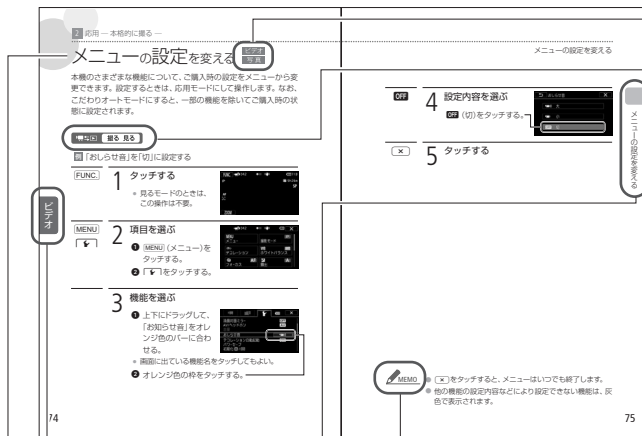
D端子ケーブルで映像、ステレオビデオケーブルで音声が出力されます。

## カードスロットのあるテレビやレコーダーで再生する ハイビジョン画質

お使いのカードに対応したカードスロットのあるAVCHD規格対応*2のテレビやレコーダーで、映像を記録したカードを再生できます。詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

カードスロットのある
ハイビジョンテレビ

*2 AVCHD規格に対応した機器でも、機器によっては正しく再生できないことがあります。その場合は本機で再生してください。

# この本の読みかた

## 探すための見出し

知りたい機能をすばやく探すための見出し。左ページに章タイトル、右ページには機能の名前を載せている。

## 本文中の表記

| | |
|---|---|
| 10 （□10） | 参照ページを示す。 |
| 参考 ▶▶ | 参考になるページなどを示す。 |
| 画面 | 「液晶画面」のこと。 |
| カード | SD／SDHC／SDXCメモリーカードのこと。 |
| メモリー | 「内蔵メモリー」または「カード」のこと。 |
| シーン | 一回の撮影操作で記録された動画のこと。 |
| Transfer Utility<br>VideoBrowser | 付属のソフトウェア「PIXELA社製 Transfer Utility / VideoBrowser」のこと。 |

* 画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

ビデオと写真のどちらで使えるかを示すマーク

ビデオ
動画の撮影や再生で使える機能。

写 真
静止画の撮影や再生で使える機能。

モードスイッチやボタンの状態を示すマーク

撮る 見る
撮る/見るボタンを押すたびに、撮影と再生が切り換わる。この場合は撮影にする。

コラムのマーク

守ってほしいこと。

知っておいてほしいこと。

知っていると便利なこと。

使う前に知っておいてください

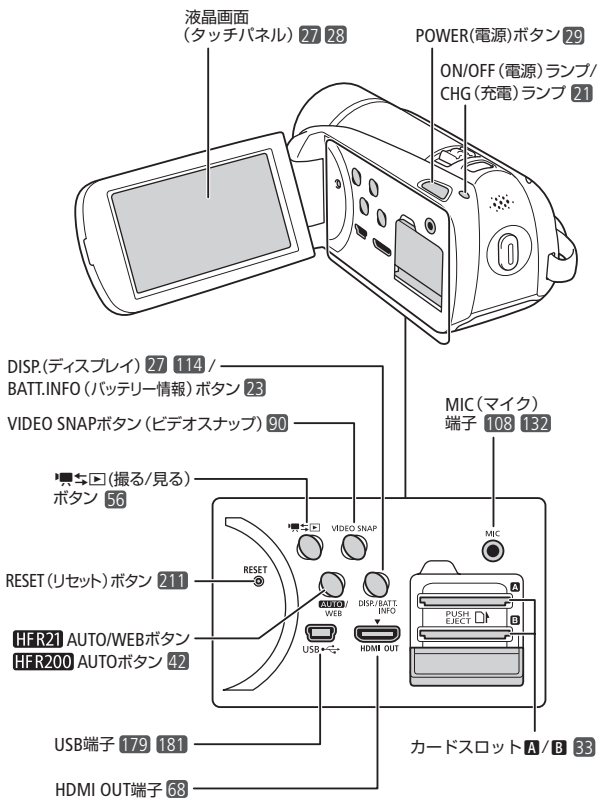
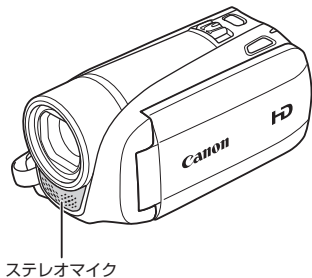
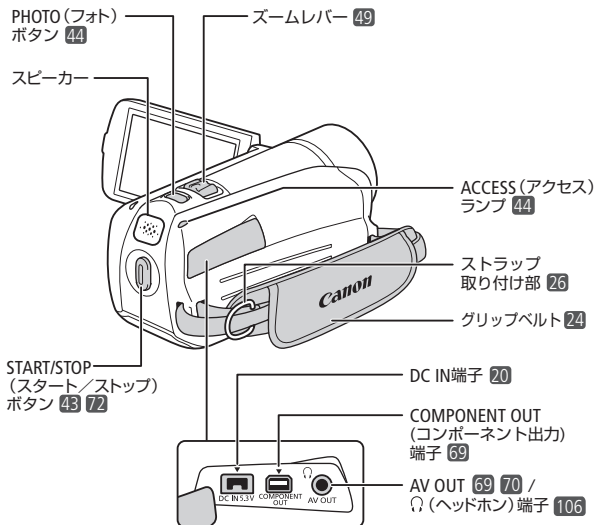
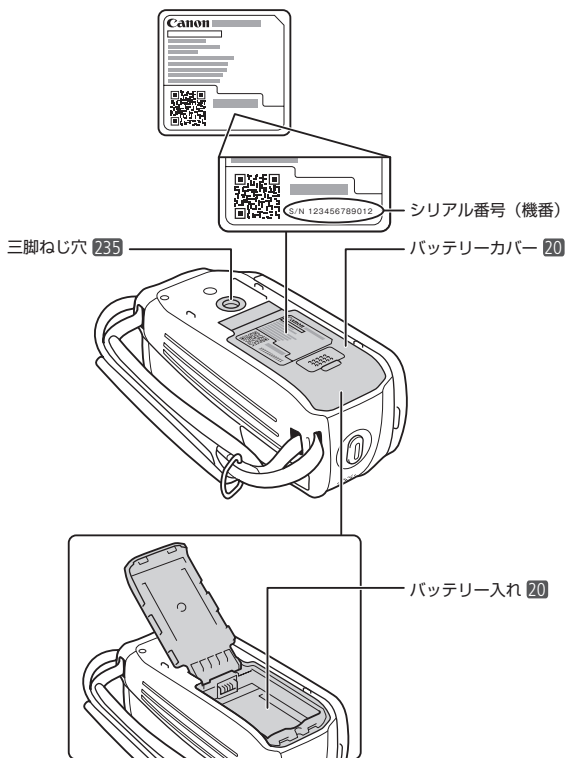
**必ず「ためし撮り」しましょう**
大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

**記録内容の補償はできません**
ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

**著作権に注意しましょう**
本機で録画・録音したビデオや作成した音楽付き著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

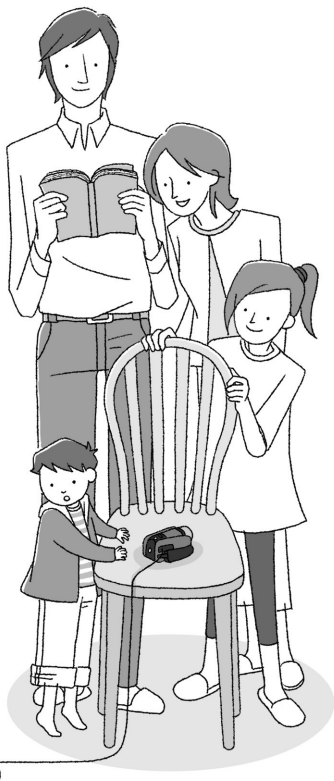
**液晶画面について**
液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

# 各部のなまえ

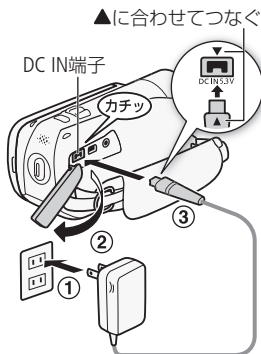
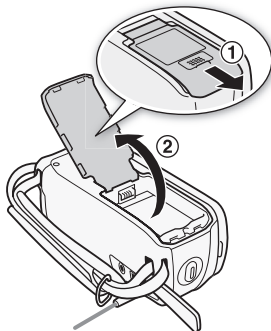
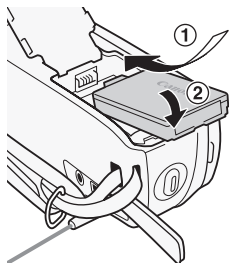
本文中に出てくる名称です。 ■ 内の数字は参照ページです。

PHOTO（フォト）
ボタン 44
ズームレバー 49
スピーカー
ACCESS（アクセス）
ランプ 44
ストラップ
取り付け部 26
グリップベルト 24
Canon
START/STOP
（スタート／ストップ）
ボタン 43 72
DC IN端子 20
COMPONENT OUT
(コンポーネント出力)
端子 69
AV OUT 69 70 /
（ヘッドホン）端子 106
DC IN 5.3V
COMPONENT OUT
AV OUT
Canon
HD
ステレオマイク

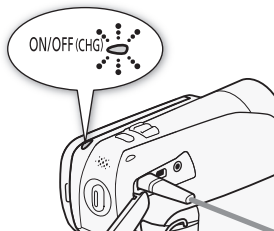
Canon
S/N 123456789012
シリアル番号（機番）
三脚ねじ穴 235
バッテリーカバー 20
バッテリー入れ 20

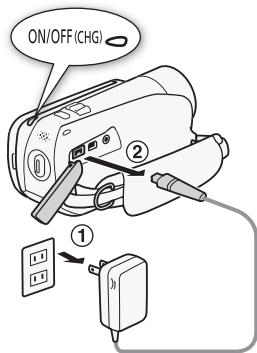
Chapter
1

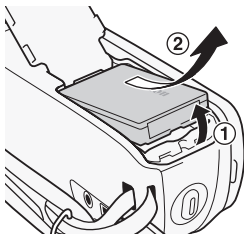
# 準備する

# バッテリーを充電する

はじめてお使いになるときは、バッテリーを充電しましょう。

## 1 コンセントにつなぐ

## 2 カバーを開ける

## 3 バッテリーを取り付ける

## 4 カバーを閉じる

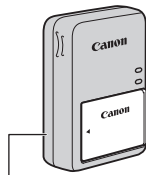
# 5 電源OFFで充電開始

**1秒に1回赤く点滅**
他のパターンで点滅しているときは、「故障かな？」の「表示やランプ」(□210)をご覧ください。

# 6 点滅→消灯で充電おわり

## バッテリーを取りはずすとき

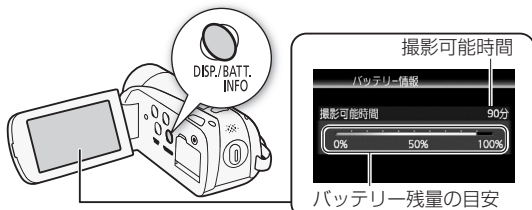
バッテリーパックの縁を矢印の方向に持ち上げて取り外す。

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。

MEMO

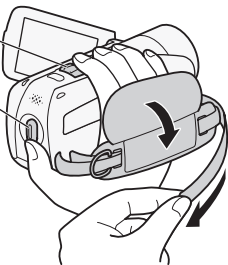
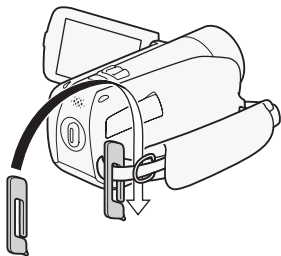
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0℃～40℃（使用温度）の範囲外のときは、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中に、コンセントまたはビデオカメラのDC IN端子からプラグを抜き、あらためて接続するときは、CHG（充電）ランプの消灯を確認してから接続してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は273～274ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。

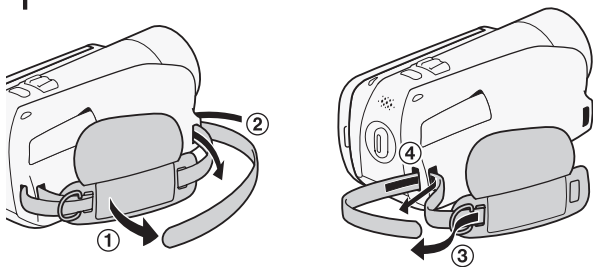
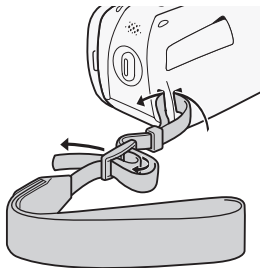
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後や、長期間使用しなかったバッテリーを使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- 付属のバッテリーBP-110の充電時間は約150分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャーCG-110を使うと約115分で充電できます。詳しい使い方は、CG-110の使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、236〜237ページをご覧ください。

バッテリーチャージャー
CG-110（別売）

## POINT バッテリーの残量を確認するには

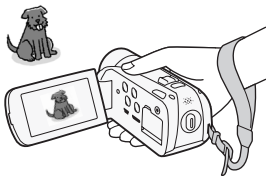
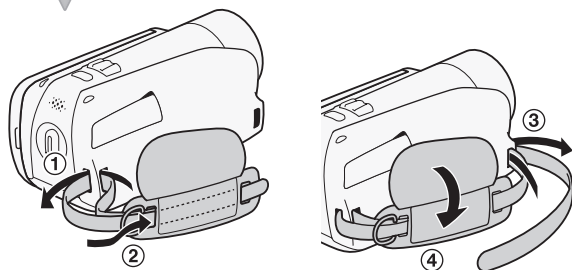
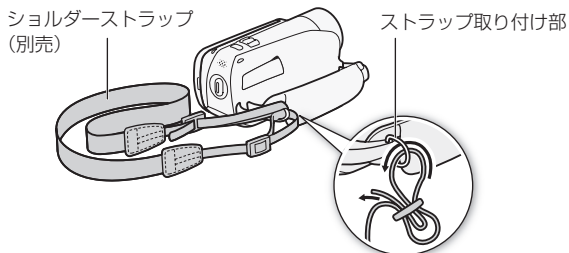
電源OFFのときにBATT. INFOボタンを押すと、バッテリーの残量と撮影可能時間が5秒間表示されます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

# 付属品を準備する

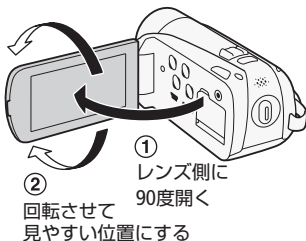
グリップベルトやストラップの調整をしましょう。

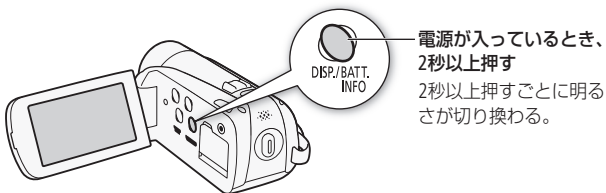
## ■ グリップベルトを調整する

## ■ スタイラスペンを取り付ける

## ■ リストストラップ（別売）を取り付ける

### 1 グリップベルトを外す

### 2 リストストラップを取り付ける

グリップベルトのストラップ取り付け部に取り付けることもできる。

使う

ビデオカメラを低い位置にして撮るときに便利

POINT グリップベルトを戻すときは

## ■ ショルダーストラップ（別売）を取り付ける

# 液晶画面を調整する

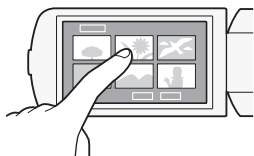
## ■ 位置を調節する

## ■ 画面の明るさを調節する

画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。

- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 画面の明るさはメニューの「液晶明るさ調整」で細かく調整できます。また、「バックライト低輝度」で画面をより暗くできます（📖263）。

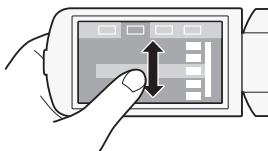
# タッチパネルで操作する

液晶画面（タッチパネル）を直接タッチして直感的に操作できます。タッチパネルでの操作には、指で液晶画面を押すタッチ操作と、タッチしたまま指を上下や左右に動かすドラッグ操作があります。なお、付属のスタイラスペンで操作することもできます。



タッチ

**液晶画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。**

- シーン（動画）の再生、項目の選択などに使います。

ドラッグ

**液晶画面を押したまま上下または左右に指を移動します。**

- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。

- **タッチパネルは圧力を感知するタイプです。確実にタッチしてください。**
- **タッチパネルを強くタッチすると、タッチした部分に白や黒のムラが出ますが、パネルの特性であり故障することはありません。また、記録、再生される動画や静止画には影響しません。**
- 次の場合は正常に動作しないことがあります。
  - スタイラスペン（付属）以外の爪先やボールペンなどで操作をしたとき。
  - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
  - 強く押したまま擦る操作をしたとき。
  - 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作したとき。

# 時計を合わせる ビデオ 写真

時刻は、お住まいの地域と旅先の2か所セットできます。海外旅行先の日時を指定しておくと、現地時間で記録できます。

撮る 見る

* はじめて使うときのみ、こだわりオートモードでも操作できます。

## 1 ONにする

## 2 日時を設定する

❶ 項目(年月日時分)をタッチし、▲ または ▼ をタッチして設定する。

- この操作を繰り返して日時を設定する。

❷ 必要に応じて、日時スタイルを設定する。

- 使用したいスタイルをタッチして選ぶ。

❸「OK」をタッチする。

- 日時設定は、メニューの「日付/時刻」で変更できます。また、地域とサマータイムをメニューの「エリア/サマータイム」で設定できます(□244)。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください(□239)。

# カードを入れる

動画や静止画をメモリーカードに記録できます（下表）。SDスピードクラス4、6、10のカードの使用をおすすめします。

| | 容量 | SDスピードクラス | 動画記録 |
|---|---|---|---|
| SDメモリーカード | 64MB以下 | — | — |
| | 128MB以上 | — | ○* |
| | | CLASS2 CLASS4 CLASS6 CLASS10 | ○ |
| SDHCメモリーカード | 2GB超 | CLASS2 CLASS4 CLASS6 CLASS10 | ○ |
| SDXCメモリーカード | 32GB超 | CLASS4 CLASS6 CLASS10 | ○ |

* カードによっては記録できないことがあります。

次のメーカー製のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2010年10月現在）。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

準備

### SDXCメモリーカードをお使いになるときは

SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応するレコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。パソコンの場合、対応OSは下表のとおりです（2010年10月現在）*。

| OS | 対応 |
| --- | --- |
| Windows 7 | ○ |
| Windows Vista | ○（Service Pack 1以降が必要） |
| Windows XP | ○（Service Pack 3と更新プログラム[KB955704]が必要） |
| Mac OS X | × |

* 最新の状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。

- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**
- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画を保存してから、本機でカードを初期化してください。

## Eye-Fiカードをお使いになるときは

- Eye-Fiカードは、カードスロット A には入れないでください。カードの通信機能に不具合が生じる場合があります。
- 弊社は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

MEMO

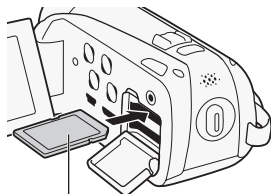
## SDスピードクラスとは？

メモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。ご購入の際は、スピードクラスのマークを確認してください。

## ■ カードを入れる

**カードをはじめて使用するときは、まず初期化してください（ 39）。**

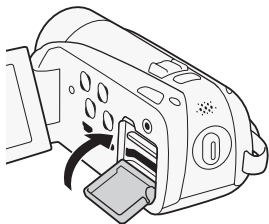
## 1 カバーを開ける

## 2 カードをカチッと音がするまで入れる

ラベル面を上に向ける。

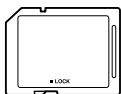
- カードスロット🅰と🅱いずれかに一枚ずつ入れることもできる。
- Eye-Fiカードの通信機能を使用するときは、カードスロット🅱に入れる。

### カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

## 3 カバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作2のような正しい向きで入れてください。

**誤ってデータを消さないために**

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

# 記録メモリーを準備する ビデオ 写真

動画や静止画を内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

## ■ 記録メモリーを選ぶ

動画や静止画の記録先を選択します。

FUNC.

### 1 タッチする

MENU

### 2 動画または静止画の記録先を選ぶ

❶ MENU（メニュー）→［ ］をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「動画記録」または「静止画記録」をタッチする。

❸ HFR21「（内蔵メモリー）」、「A（カードA）」または「B（カードB）」→［⮌］タッチする。

HFR200「A（カードA）」または「B（カードB）」→［⮌］タッチする。

動画撮影可能時間/静止画記録可能枚数の目安*

* 現在設定している動画の録画モードや静止画のサイズをもとに算出。

- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「Eye-Fiカードをお使いになるときは」（□32）を確認してください。

[ × ]

## 3 タッチする

● 撮影した動画を本機で変換*して、Webアップロードを行うときは、動画の記録先を内蔵メモリー*またはカードAに設定して撮影してください。

* HF R21 の場合。

## ■ 長時間連続して撮影する(リレー記録)

動画の場合、内蔵メモリー*がいっぱいになったらカードAへ、カードAがいっぱいになったらカードBへと、自動的に記録メモリーが変更され、記録できます。

* HF R21 の場合。

撮る 見る

### 1 動画を記録していないカードを入れる(33)

- カードが1枚のときは、カードスロット A に入れる。

### 2 リレー記録を選ぶ

❶ 35ページの操作2の❷までの操作を行う。

❷ HF R21 「(内蔵メモリー)」または「A (カードA)」をタッチする。

HF R200 「A (カードA)」をタッチする。

❸ 「リレー記録」をタッチする。

HF R21

❷で内蔵メモリーをタッチしたとき

「➔ A」または「➔ A ➔ B」をタッチする。

HF R21 HF R200

❷でカードAをタッチしたとき

「A ➔ B」をタッチする。

### 3 タッチする

×

記録メモリーを準備する

- HF R21 内蔵メモリーからカードBへのリレー記録はできません。あらかじめカードスロットAにカードを入れてください。
- 記録メモリーが切り換わるとき、シーンが一瞬途切れます。

リレー記録が解除される場合

- 電源を切ったとき。
- カードカバーを開けたとき。
- AUTOボタン/WEBボタン（HF R21）またはAUTOボタン（HF R200）を操作したとき。
- 撮影/再生ボタンを操作したとき。
- 記録メモリーを変更したとき。

## ■ 初期化する

カードをはじめて使用するときや、内蔵メモリー*やカードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

* HFR21 ご購入時は、すぐに撮影できるように内蔵メモリーは初期化されています。また、動画または静止画と一緒に再生する音楽や画像ミックスデータが入っています。

撮る 見る

### 1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

FUNC.

### 2 タッチする

MENU

### 3 初期化するメモリーを選ぶ

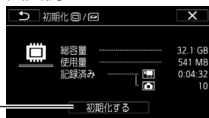
❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。

❷ HFR21 「初期化 / 」をタッチする。
HFR200 「初期化 」をタッチする。

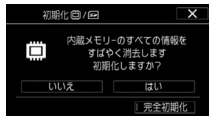
❸ HFR21 「 （内蔵メモリー）」、「A （カードA）」または「B （カードB）」をタッチする。
HFR200 「A （カードA）」または「B （カードB）」をタッチする。

## 4 初期化を選ぶ

画面例：HF R21

❶「初期化する」をタッチする。

データを完全に消去するとき

「完全初期化」をタッチする。

❷「はい」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」をタッチする。メモリーはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

❸「OK」をタッチする。

## 5 タッチする

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンやDVDなどにバックアップ（📖178、184）してから初期化してください。
- 初期化すると、動画または静止画と一緒に再生するため、パソコンから転送した音楽も消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていた音楽や画像ミックス用の画像は消去されません（HF R21）。
- Eye-Fiカードを使用する場合は、あらかじめカードに付属のソフトウェアをパソコンにインストールしてから初期化してください。初期化すると、カードに保存されているソフトウェアも消去されます。

Chapter

# 2

# 簡単に撮る

Basic Recording of Movies or Photos

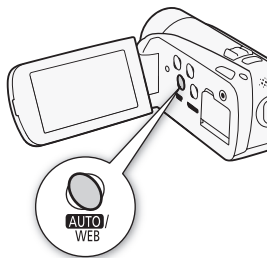
# 簡単にビデオや写真を撮る

こだわりオート

ビデオカメラまかせで、撮りたい状況に合わせた動画や静止画を撮影することができます。撮影した動画や静止画は内蔵メモリー*やカードに記録されます。

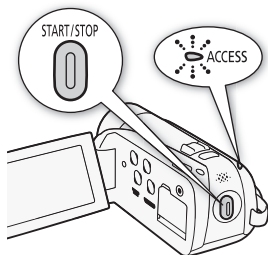
* HF R21 の場合。

## 1 ONにする

## 2 HF R21 AUTO/WEBボタン HF R200 AUTOボタン 押す

AUTO が表示される。

- カードに記録するとき（35）。
- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「Eye-Fiカードをお使いになるときは」（32）を確認してください。

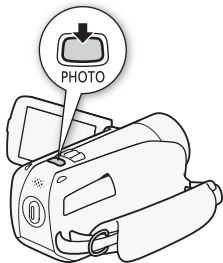
## 3

押す ▶ 撮影開始！

### 動画の撮影を終えるとき

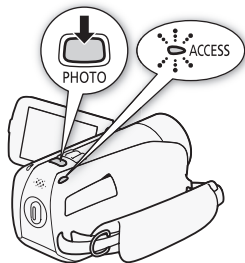
もう一度、START/STOPボタンを押す。

- 1シーン*の動画が記録され、撮影一時停止になる。

* 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「シーン」と呼びます。

静止画を撮るとき

❶ 浅く押し続ける

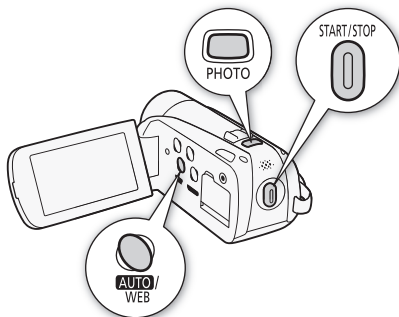
- ピントを調整し、終わると画面の◉が緑色になって緑色の枠が出る。
- 画面の◉が黄色に点滅しているときは、ピントが合っていない。ビデオカメラの位置を変えて、もう一度浅く押し続ける。

❷ 深く押す

- ACCESSランプが点滅。

電源を切るとき

**1.** ACCESSランプが消えていることを確認する。
**2.** POWERボタンを押す。
**3.** 液晶画面を垂直にしてから閉じる。

## POINT 応用モードとこだわりオートモード

AUTO/WEBボタン( HF R21 )またはAUTOボタン( HF R200 )を押すだけで、いろいろな調整ができる「応用モード」と、おまかせでキレイに撮れる「こだわりオートモード」を切り換えることができます。

### 応用モード

撮影シーンに合わせて露出やピントなどを調整したり、メニューから設定項目を変更して撮影できます。

### こだわりオートモード

ビデオカメラが被写体や撮影状況を判別して、シーンに最適な設定にするため、カメラまかせの全自動撮影ができます。

**動画を撮るには**

⇒ START/STOPボタンを押すだけ

**静止画を撮るには**

⇒ PHOTOボタンを押すだけ

## POINT こだわりオートの自動設定機能とは

ビデオカメラはシーンに応じて、ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

| 被写体＼背景 | 明るい（灰色） | 青空（水色） | 鮮やかな色（緑/黄/赤色） | 夕景（オレンジ色） |
|---|---|---|---|---|
| 静止した人物 | （ ） | （ ） | （ ） | – |
| 動いている人物 | （ ） | （ ） | （ ） | – |
| 風景など、人物以外の被写体 | AUTO（ ） | AUTO（ ） | AUTO（ ） | |
| 近くの被写体 | *（ *） | *（ *） | *（ *） | – |

（　）は逆光下の場合。

*望遠側にズームして、テレマクロ（98）が自動設定されると表示されます。

| 被写体＼背景 | 暗い（紺色） | | |
|---|---|---|---|
| | | スポットライト | 夜景 |
| 静止した人物 | | – | – |
| 動いている人物 | | – | – |
| 風景など、人物以外の被写体 | AUTO | | |
| 近くの被写体 | * | – | – |

このモードではズーム（49）、クイックスタート（52）、ビデオスナップ（90）、デコレーション（141）が使えます。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - AUTO/WEBボタン（HF R21）またはAUTOボタン（HF R200）を操作しない。
  - ボタンを操作しない。

- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（178）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。
- Eye-Fiカードをカードスロット B に入れ、記録先に設定した場合、静止画を記録して見るモードに切り換えると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（200）。

MEMO

- こだわりオートモードの場合、画面のFUNC.メニューから「デコレーション」と「ZOOM」（ズーム）のいずれかを選ぶことができます。操作については「デコレーションして楽しむ」（141）、「拡大して撮る」（49）をご覧ください。
- バッテリーを使っているときに、約5分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます（264）。このときは電源を入れ直してください。
- 液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節してください（263）。

### 「こだわりオート」のシーン判別について

- シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが出ることがあります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、 や「青空」のマーク類が出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときはP（プログラム）モードで撮影することをおすすめします。

● こだわりオートモードに切り換えたときは、FUNC.メニュー/メニューの設定内容は、ご購入時の設定に戻ります。ただし、以下の項目のみ応用モードで設定した内容がそのまま保持されます。

- FUNC.メニューの設定内容：「デコレーション」、「ZOOM」（ズーム）、「手ブレ補正」
- メニューの設定内容：「オートスローシャッター」、「ビデオスナップ記録時間」、「撮影時レーティング」、「動画記録」、「録画モード」、「静止画記録」、「静止画サイズ」、「 システム設定」の全項目

# 拡大して撮る ビデオ 写真

## ズーム

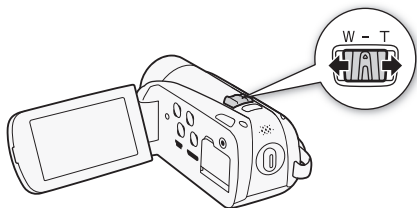
ズームは、ズームレバーまたは画面上のズームボタンで操作します。光学ズームで20倍、アドバンストズームでは28倍*1、さらにデジタルズーム*2を使うと400倍まで拡大できます（📖252）。なお、各ズームの切り換えは、メニューの「ズーム倍率」から行うことができます（📖253）。

*1 手ブレ補正の設定が「スタンダード」または「切」のとき。「ダイナミック」のときは24倍まで。静止画撮影時は、光学ズームに切り換わります。

*2 こだわりオートモード時は、アドバンストズームに切り換わります。また、デジタルズームでは静止画撮影はできません。

撮る 見る

### ■ ズームレバーで操作する

遠くを拡大して撮りたいときは**T**側に、周りを広く撮りたいときは**W**側にズームレバーを押します。

W側（広角）　T側（望遠）

## ■ 画面のズームボタンで操作する

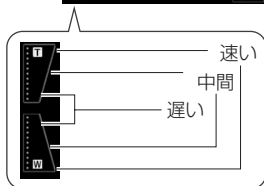
FUNC.

1 タッチする

2 ズームを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、「ZOOM」(ズーム)をタッチする。

- ズーム画面が出る。

❷ 画面上のズームボタン「**T**」または「**W**」をタッチして、ズーム操作をする。

- ズームのスピードは、タッチする場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。

×

3 タッチする

### 被写体との距離について

- ズーム撮影をするときは被写体から1 m以上離れてください。
- ズームレバーを **W** 側に押して最も広角にすると、約1 cmまで近づいて撮影できます。
- テレマクロ（📖98）が設定されると、最も望遠までにズームしているとき、約40cmまで近づいて撮影できます。

### ズームスピードについて

- ご購入時の設定では、ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします（可変速）。
- メニューの「ズームスピード」（📖252）で、「スピード3（速い）」～「スピード1（遅い）」の固定速を選ぶこともできます。

● 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ）。また撮影一時停止中にプレREC（📖85）を「ON」にしていると遅くなります。

# すばやく撮影をはじめる

クイックスタート

液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

*1 バッテリーの消耗は撮影時の約1/3です。

*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

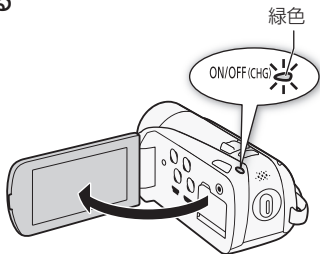
撮る 見る



## 1. スタンバイする

- 液晶画面を閉じる→電源ランプがオレンジ色に点灯してスタンバイ状態になる。

## 2. クイックスタートする

- 液晶画面を開く→電源ランプが緑色に点灯して撮影できる状態になる。

ご注意 ● **スタンバイ中は電源を取り外さないでください。**

MEMO スタンバイ状態にならない場合

■ ACCESSランプ点滅中。

■ メニュー表示中。

次のときはスタンバイ状態にならないことがあります。必ず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。

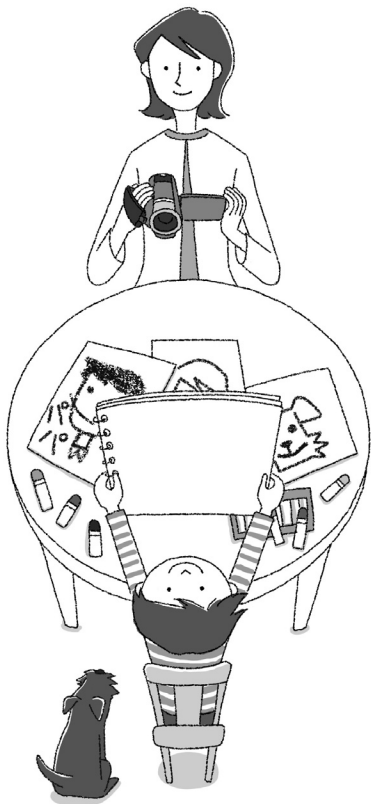
■ バッテリー残量が少ないとき。

### スタンバイ中の電源OFFについて

- スタンバイ後10分経過すると、節電のため自動的に電源が切れます。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
- 電源OFFまでの時間は、「パワーセーブ」メニューの「クイックスタートスタンバイ」で選べます（□264）。
- スタンバイ中、通常の「オートパワーオフ」（□264）は無効になります。

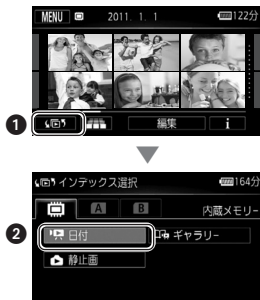
● メニューの「パワーセーブ」で「クイックスタートスタンバイ」を「切」にすることで、クイックスタート機能を無効にすることもできます。

Chapter
# 3
# ビデオ

Recording and Playing Back Movies

# ビデオを見る

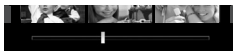
撮った動画を日付ごとに見ることができます。

## 1 押す

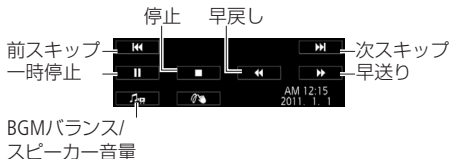
## 2 タッチする

画面例： HF R21

## 3 見たいシーンを探す

表示中のメモリー
HF R21 [内蔵メモリー]：内蔵メモリー、[A]：カードA、[B]：カードB
HF R200 [A]：カードA、[B]：カードB

- 左右にドラッグした後、数秒間出る。
  つまみをドラッグしてスクロールする。

## 4 シーンをタッチする ▶ 再生開始！

- タッチしたシーンの再生が終わると、「日付」インデックスの最後のシーンまで自動的に再生される。
- 液晶画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。もう一度タッチしても消える。

停止　早戻し
前スキップ　次スキップ
一時停止　早送り
AM 12:15
2011. 1. 1
BGMバランス/
スピーカー音量

**画面の表示を消す／切り換える**
DISP.ボタンを押すたびに切り換わる（□114）。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - AUTO/WEBボタン（HFR21）またはAUTOボタン（HFR200）を操作しない。
  - 🎥⇆▶ボタンを操作しない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。

## ■ インデックス画面の一覧表示数を変える

インデックス画面の一覧表示数を切り換えられます。ズームレバーを**W**側に押すと15表示、**T**側に押すと6表示となります。

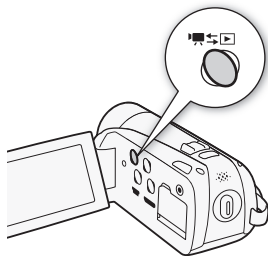
15表示　　6表示



## ■ 3Dビューからシーンを選ぶ

3Dビューでは、撮影日付が同じシーンを立体的に重ねて表示できるので、見たいシーンを確認しながら探すことができます。

## POINT 撮影と再生を切り換える🎥⇆▶（撮る／見る）ボタン

🎥⇆▶（撮る／見る）ボタンを押すと、撮影（撮るモード）と再生（見るモード）を切り換えられます。また、電源OFFのときに押すと、再生画面で起動します。

# メモリーと表示内容を切り換える

## インデックス選択

インデックス選択の画面では、表示するメモリーと表示内容を切り換えます。撮影した動画やビデオスナップを「作品」として、並べて表示することもできます(「ギャラリー」画面)。

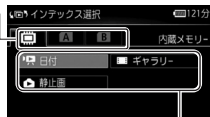
### ■ 表示するメモリーと内容を切り換える

撮る 見る

1 タッチする

2 メモリーと表示内容を選ぶ

❶ HFR21「(内蔵メモリー)」、「A(カードA)」または「B(カードB)」をタッチする。
HFR200「A(カードA)」または「B(カードB)」をタッチする。

❷ 表示する内容をタッチする。

| ボタン | 表示する内容 |
|---|---|
| 日付 | 撮影日付ごとの動画。 |
| ギャラリー | 「作品」ごとに分けられた動画。 |
| 静止画 | 静止画。 |
| SD動画*1*2 | 標準画質に変換した動画。Webアップロード用。 |

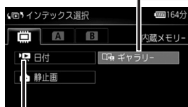
*1 ❶でA(カードA)またはB(カードB)を選んだときのみ表示。
*2 HFR21の場合。

MEMO

● 「SD動画」のシーンは、再生と停止のみ行えます。早送り/早戻しやスロー再生などはできません。

ビデオ

## POINT 「日付」と「ギャラリー」の画面について

インデックス選択では、撮影した動画を二通りの方法で見ることができます。シーンやビデオスナップを撮影日ごとに見たいときは「日付」インデックス(❶)から、ビデオスナップやシーンをお好みでまとめた「作品」ごとに見たいときは「ギャラリー」画面(❷)から、見ることができます。「ギャラリー」画面の操作については、121ページをご覧ください。

❷「作品」ごとに見たいとき

❶日付ごとに見たいとき

画面例：[日付]

画面例：[3Dビュー]

■「日付」インデックス/3Dビュー
画面を横にドラッグして見ていく「日付」と、縦にドラッグして立体的に見ていく「3Dビュー」を切り換えられます(□56、58)。

画面例：[未分類]

画面例：[ビデオスナップ]

■「ギャラリー」画面
ギャラリーには、二つのグループがあり、動画の種類ごとに分けられています(ご購入時の状態)。

・[未分類]：撮影したままの全シーン
・[ビデオスナップ]：ビデオスナップ

ビデオスナップ以外のシーンは[未分類]から、ビデオスナップは[ビデオスナップ]からそれぞれに見ることができます。なお、「作品」は新しく作ることもできます(□122)。

# 早送りや早戻しなどをする

ビデオ
写真

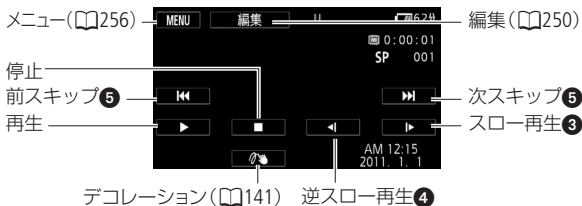
早送りや早戻し、スロー再生、スキップ再生など、さまざまな再生方法があります。

撮る 見る

## 再生中の操作

- 通常再生中にタッチ → 操作ボタンが出る。
- 音量を変えるときは、[♫] をタッチ→◀または◀))をタッチする。

- 早送り/早戻し中に（▶）ボタンまたは画面上をタッチ → 通常再生

## 再生一時停止中の操作

- スロー再生/スロー逆再生中に（II）ボタンまたは画面上をタッチ → 一時停止

| | 機能 | 操作 | | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| ❶ | 早送り*1 | 再生中に | ▶▶ | 操作するたびに再生速度が5倍→15倍→60倍に切り換わる。*2 |
| ❷ | 早戻し*1 | 再生中に | ◀◀ | |
| ❸ | スロー再生*1 | 一時停止中に | I▶ | 操作するたびに再生速度が1/8倍→1/4倍に切り換わる。*2 |
| ❹ | 逆スロー再生*1 | 一時停止中に | ◀I | |
| ❺ | スキップ再生 | 再生中／一時停止中に | ▶▶I | 次のシーンの先頭から再生。 |
| | | 再生中／一時停止中に | I◀◀ | 現在のシーンの先頭から再生。 |
| | | 再生中／一時停止中に2回押す | I◀◀ | 前のシーンの先頭から再生。 |

*1 操作中、画面が乱れることがあります。

*2 画面に出る倍速表示は目安です。

MEMO ● 操作中は音声が聞こえません。

# シーンを消す

ビデオ
写真

消去

シーンは、「日付」インデックスまたは「ギャラリー」画面のいずれからも消去できます。また、不要なシーンを複数選んでまとめて消去したり、特定の日に撮ったシーンだけを消去したりすることもできます。なお、「日付」インデックスからシーンを消去すると、ギャラリーの「作品」からも消去されます。ギャラリーのシーンを消すときは123ページをご覧ください。

撮る 見る

## 1 消去するシーンを含む「日付」インデックスに切り換える（□60）

**特定の日に撮った全シーンを消すとき**

左右にドラッグして、消去するシーンの「日付」を画面上部に出す。

## 2 タッチする

編集

## 3 シーンを選ぶ

❶「消去」をタッチする。

❷「撮影年月日」、「選択」、「全シーン」のいずれかをタッチする。

ビデオ

「撮影年月日」または「全シーン」を選んだとき

- 消去内容の確認画面が出る。

「選択」を選んだとき

左右にドラッグして目的のシーンにタッチする。

- 選んだシーンに☑が付く。
- 複数のシーンを消去したいときは、続けて他のシーンをタッチする。

全解除
実行
☑ 4

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

## 4 シーンを消す

「撮影年月日」または「全シーン」を選んだとき

❶「はい」をタッチする。

「選択」を選んだとき

❶ (実行) →「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部のシーンは消去される。

❷「OK」をタッチする。

## POINT 再生一時停止中にシーンを消すときは

再生中にシーンを消去することができます。

❶ シーン再生中に画面をタッチ→［❚❚］をタッチする。

❷ ［編集］をタッチする。

❸「消去」→「はい」→「OK」をタッチする。

- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください（□178）。
- シーン消去中、ACCESSランプが点灯しているときは、次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - AUTO/WEBボタン（HF R21）またはAUTOボタン（HF R200）を操作しない。

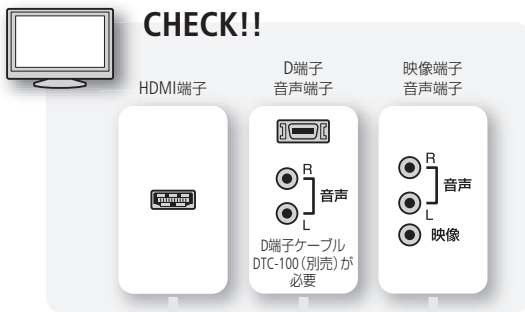
- メモリーに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、初期化します（□39）。

# テレビで見る

ビデオ 写真

テレビで再生すると、より大きな画面で鑑賞できます。ハイビジョンテレビにつないで美しい映像をお楽しみください。



## 1 テレビの端子をチェックし、接続方法を決める

## 2 本機とテレビの電源を切る

## 3 ケーブルを使ってテレビと接続する

次ページ

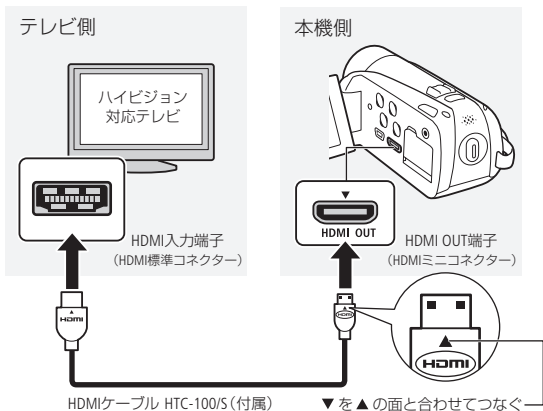
## 4 本機とテレビの電源を入れる

- テレビ側で入力端子を切り換える

## 5 再生する

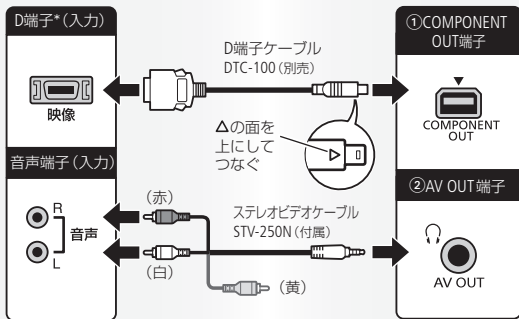
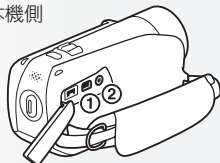
動画を見るとき（📖 56）／静止画を見るとき（📖 152）

ハイビジョン画質で見る

# HDMI端子に接続する

## HDMI OUT端子に接続するときの注意

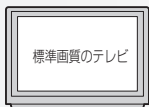
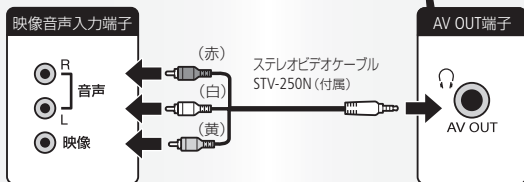
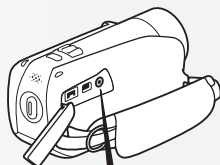
- この端子は出力専用です。他機の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- この端子で接続しているときは、他の端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、Ⓑまたは Ⓒ の方法で接続してください。

**HDMIとは？**

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMI OUT端子では、接続するテレビの解像度に自動的に変換して映像を出力します。HDMI対応の機能については、「メニューの紹介」の「x.v.Color」、「HDMI機器制御」、「HDMI出力状態」、「HDMI1080p出力」（📖259、264～265）をご覧ください。

メニューの「AV/ヘッドホン」(□261)を「AV」に設定する。

標準画質で見る

## C 映像／音声端子に接続する

### つなぐ

### 設定する

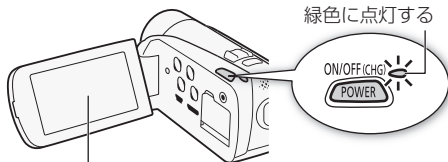
1 ワイド(16:9)モードのない標準画質のテレビ(4:3)につなぐときは、メニューの「テレビタイプ」(□256)を「ノーマルテレビ」に設定する。
2 メニューの「AV/ヘッドホン」(□261)を「AV」に設定する。

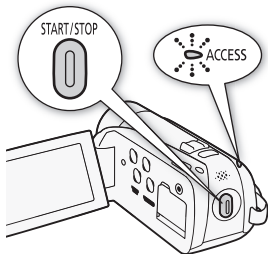
- メニューの「x.v.Color」を「入」にして撮影した動画を、x.v.Color対応のテレビで見るときは、テレビ側の設定が必要になることがあります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- AV OUT端子にステレオビデオケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- 接続方法 C でつなぐ場合、テレビがビデオID-1方式に対応していると、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。

# 自分で設定してビデオを撮る

応用モード

さまざまな機能を自分で設定して撮影することができます。

## 1 ONにする

AUTO が表示されたときは、応用モードに切り換える(45)。

## 2 押す ▶ 撮影開始！

ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - 🎥⇆▶ボタンを操作しない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（□178）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

**液晶画面を閉じて撮影する**

ピアノの発表会を撮るときなど、三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、液晶画面を閉じて撮影するとバッテリーの持ちが良くなります。メニューの「パワーセーブ」で「クイックスタートスタンバイ」を「切」にします（□264）。

## ■ いま撮ったシーンを確認する（録画チェック）

直前に撮影したシーンの最後の4秒間が再生され、録画状態をチェックすることができます。このとき、音声は再生されません。

🎥⇆▶ **撮る** 見る

FUNC.

### 1 タッチする

(録画チェックアイコン)

### 2 録画チェックを選ぶ

上下にドラッグして、(録画チェックアイコン)（録画チェック）をタッチする。

- 直前に撮ったシーンの最後の4秒間が再生される。

# メニューの設定を変える ビデオ 写真

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。設定するときは、応用モードにして操作します。なお、こだわりオートモードにすると、一部の機能を除いてご購入時の状態に設定されます。

撮る 見る

例「おしらせ音」を「切」に設定する

FUNC.

## 1 タッチする

● 見るモードのときは、この操作は不要。

MENU

## 2 項目を選ぶ

❶ MENU(メニュー)をタッチする。

❷ をタッチする。

## 3 機能を選ぶ

❶ 上下にドラッグして、「お知らせ音」をオレンジ色のバーに合わせる。

● 画面に出ている機能名をタッチしてもよい。

❷ オレンジ色の枠をタッチする。

ビデオ

OFF

## 4 設定内容を選ぶ

OFF（切）をタッチする。

×

## 5 タッチする

- × をタッチすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

# 画質を選ぶ

ビデオ
写 真

## 録画モード

録画モードには MXP 、FXP 、XP+ 、SP 、LP の5種類があります。高画質で撮影したいときはMXPまたはFXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

撮る 見る

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 録画モードを選ぶ

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。
❷ 上下にドラッグして、「録画モード」をタッチする。
❸ いずれかをタッチする。

×

3 タッチする

## POINT 録画時間の目安

| 録画モード | MXP *1 | FXP *1 | XP+ | SP | LP |
|---|---|---|---|---|---|
| HF R21 内蔵メモリー（32GB）*2 | 2時間55分 | 4時間10分 | 5時間45分 | 9時間35分 | 12時間15分 |
| 4GBカード | 20分 | 30分 | 40分 | 1時間10分 | 1時間30分 |
| 8GBカード | 40分 | 1時間 | 1時間25分 | 2時間20分 | 3時間 |
| 16GBカード | 1時間25分 | 2時間5分 | 2時間50分 | 4時間45分 | 6時間5分 |
| 32GBカード | 2時間55分 | 4時間10分 | 5時間45分 | 9時間35分 | 12時間15分 |

1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に一時停止し、約3秒後に再び記録が開始されます。なお、記録される映像は別々のシーンになります。

*1 水平1920×垂直1080画素で記録されます。他の録画モードでは1440×1080画素で記録されます。

*2 ご購入時、内蔵メモリーには約70 MBの音楽データと約5MBの画像ミックスデータが保存されています。

MEMO

- MXPモードで撮影した動画は、そのままの画質ではDVD（AVCHD形式）に保存できません。ディスクに保存するときは、ブルーレイディスクに保存するか、付属のVideoBrowserを使ってDVD（AVCHD形式）*に保存してください。
  * FXPモードの画質に変換されます。
- 録画時間は撮影するシーンによって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているためです。
- こだわりオートモードに切り換えても設定した録画モードは変わりません。

# 映像のなめらかさを選ぶ

## フレームレート

1秒間に記録されるコマの数(フレームレート)を選ぶことができます。選ばれたフレームレートによって、記録される動画の滑らかさが変わります。通常は、60i 標準(60i)を選びます。

撮る 見る

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 フレームレートを選ぶ

❶ MENU (メニュー)→
をタッチする。

❷ 上下にドラッグして
「フレームレート」をタッチする。
❸ いずれかをタッチする。

| | | |
|---|---|---|
| 60i | 標準(60i) | テレビ信号と同じように記録する(60フィールドインターレース)。 |
| PF30 | PF30 | 映像を30コマ/秒で撮影、60iに変換して記録する。インターネットで映像を公開するときなどに便利。 |
| PF24 | PF24 | 映画と同じように映像を24コマ/秒で撮影、60iに変換して記録する。 |

×

3 タッチする

# 場面に合わせて撮る ビデオ 写真

## Pモード(プログラムAE)/シーンモード(SCN)

シーンモードでは、照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影できます。また、**P**(プログラムAE)ではシャッタースピードと絞りが自動で設定され、ビデオカメラまかせで撮影できます。AEとは、Auto Exposure(オートエクスポージャー)の略で、自動露出のことです。

FUNC.

### 1 タッチする

P

### 2 撮影モードを選ぶ

❶ **P**(撮影モード)→(ポートレート)をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、いずれかをタッチする。

×

### 3 タッチする

## POINT 「場面に合わせて撮るとき」に選べる項目

### ポートレート
背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

### スポーツ
動きの速い被写体を撮る。

### 夜景
夜景をきれいに撮る。

### スノー
照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

### ビーチ
照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

### 夕焼け
夕焼けを色鮮やかに撮る。

### ローライト
暗い場所で被写体を明るく撮る。

### スポットライト
スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

### 打上げ花火
打上げ花火をきれいに撮る。

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームレバーを**T**側にすると、背景がより効果的にぼけます。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください（📖95）。

打上げ花火について

- 手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
- 静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などで固定してください。

# 映画のように撮る ビデオ 写真

シネマエフェクトを使用すると映画のような落ち着いた色合いの動画や静止画を撮影できます。

FUNC.

## 1 タッチする

P / シネマモード / ×

## 2 シネマモードを選ぶ

❶ P（撮影モード）→ （シネマモード）をタッチする。

❷ × をタッチする

FUNC. / MENU / PF24

## 3 動画の場合 フレームレートをPF24にする（□284）

❶ FUNC. → MENU（メニュー）→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして「フレームレート」をタッチする。

❸ PF24（PF24）をタッチする。

×

## 4 タッチする

# 手ブレをおさえて撮る

ビデオ
写真

## 手ブレ補正

手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

撮る 見る

FUNC.

**1** タッチする

**2** 手ブレ補正を選ぶ

❶ 上下にドラッグして （手ブレ補正）をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

| | |
|---|---|
| ダイナミック | 歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。 |
| スタンダード | 静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを使うときはこの設定にする。 |
| 切 | 三脚などを使って撮影するとき。 |

×

**3** タッチする

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 手ブレ補正により背景の動きに不自然さを感じる場合には「スタンダード」または「切」を選択してください。
- 手ブレ補正機能は、動画撮影時のみ有効です。

# 撮影チャンスを逃さない

プレREC

3秒前からの映像が自動的に記録され、決定的瞬間を逃しません。

FUNC.

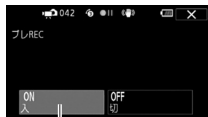
## 1 タッチする

ON

×

## 2 プレRECを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、(プレREC)→ ON (入)をタッチする。

ON 入 OFF 切

❷ × をタッチする。

❶で OFF (切)をタッチする。

START/STOP

## 3 押す

- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

- プレRECを「ON」にしていると、おしらせ音は出ません。
- プレRECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

プレRECが解除される場合

- プレRECを設定した後、約5分間操作しなかったとき。
- こだわりオートモードに切り換えたとき。
- ビデオスナップモードをONにしたとき。
- スタンバイ状態にしたとき。
- メニューや、FUNC.メニュー（「撮影モード」、「ホワイトバランス」、「デジタルエフェクト」、「手ブレ補正」、「録画チェック」）の操作をしたとき。

# 顔を検出してきれいに撮る ビデオ 写真

フェイスキャッチ&追尾

人物の顔を検出して、自動的にピントや明るさを調整します。複数の人物から、特定の人をねらって撮影することもできます。

撮る 見る

FUNC.

## 1 タッチする

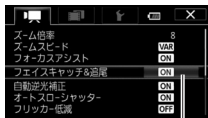
MENU
ON
×

## 2 フェイスキャッチ&追尾を選ぶ

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして「フェイスキャッチ&追尾」をタッチする。

ズーム倍率 8
ズームスピード VAR
フォーカスアシスト ON
フェイスキャッチ&追尾 ON
自動逆光補正 ON
オートスローシャッター ON
フリッカー低減 OFF

❸ ON 入 →（×）をタッチする。

**解除するとき**

❸で OFF（切）→（×）をタッチする。

## 3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

**複数の人物から特定の人を選ぶとき**

特定の人物の顔をタッチする（□89）。

● 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合はフェイスキャッチ&追尾を「OFF」にしてください。

### 顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

### フェイスキャッチ&追尾が使用できない場合

- FUNC.メニューの撮影モードを「夜景」、「ローライト」または「打上げ花火」に設定しているとき。
- シャッタースピードを1/30秒未満にしているとき（メニューの「フレームレート」を「PF24」にしているときは、1/24秒未満）。
- デジタルズームで80倍を超えて拡大しているとき。

● フェイスキャッチ&追尾を「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上になります。メニューの「フレームレート」を「PF24」にしているときは、1/24秒以上になります。

# ねらった被写体をきれいに撮る

## タッチ追尾

被写体が動いてもピントと明るさを合わせながら撮影できます。ペットなど、動いている被写体を確実に撮りたいときに便利です。

撮る 見る

### 1 フェイスキャッチ&追尾をONにする

87ページの操作1〜2を行う。

### 2 カメラを被写体に向ける

### 3 画面上の被写体をタッチする

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと枠も自動で一緒に動く。

解除するとき 「解除」をタッチする。

- タッチした被写体と特徴(色など)が似ている被写体があると、その被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度被写体をタッチしてください。

**タッチ追尾が働かない場合**

- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体の大きさが画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

# ビデオスナップを撮る

ビデオ
写真

ビデオスナップモードを使って撮影すると、4秒間*の短い映像(ビデオスナップ)が記録できます。記録されたビデオスナップは、好きな音楽と一緒に再生できます(□130)。

* 記録時間は、メニューの「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒のいずれかに変更できます(□257)。

撮る 見る

## 1 押す

- 画面に青い枠が出る。

## 2 押す

- 約4秒間撮影し、自動的に撮影一時停止になる。
- 撮影中は青い枠が動き、記録後、シャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。

- を切り換えると、ビデオスナップモードは解除されます。



ビデオ

# 場面の切り換えと特殊効果

## デジタルエフェクト

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出のシーンや静止画にひと工夫加えてみましょう。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

### フェーダー

映画の場面が切り換わるときのように、シーンの始まりと終わりを演出します。F1オートフェード（毎回）またはF2ワイプ（毎回）を使うと、シーンの始まりと終わりに毎回効果を付けることができます。また、メニューの「フェーダー設定」では、黒（暗転）または白（明転）いずれかのオートフェードを選ぶことができます（252）。

F1 オートフェード（1回）／F1 オートフェード（毎回）

F2 ワイプ（1回）／F2 ワイプ（毎回）

### エフェクト

シロクロやセピアにしてノスタルジックな雰囲気を出すことができます。

E1 シロクロ　　E2 セピア

撮る 見る

FUNC.

1 タッチする

2 目的の効果を選ぶ

❶ 上下にドラッグして、(D.エフェクト)をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

デジタルエフェクトを使わないとき

(切)をタッチする。

❸ ✕ をタッチする。

START/STOP

3 動画の場合 押す

- 撮影一時停止中(●❚❚)にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中(●)に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になる。

PHOTO

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 静止画が「シロクロ」または「セピア」で記録される。

MEMO フェーダーが使用できない場合

- ビデオスナップモードのとき。
- プレRECが「ON」のとき。

ビデオ

# 明るさを調整する ビデオ 写真

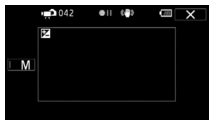
露出

逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ(露出)の調整をします。なお、撮影モードを「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

FUNC.

## 1 タッチする

## 2 露出を選ぶ

(露出)をタッチする。

## 3 露出を調整する

❶ 画面上の、露出を合わせたい被写体にタッチする。

- タッチした場所にが点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
- **M**ボタンがONになり、メーターが出る。

❷ さらに調整するときは、◀または▶をタッチして、好みの数値を選ぶ。

- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- 調整後の明るさで固定される。
- 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。

- ❶の操作のかわりに**M**ボタンをタッチして、メーターで調整することもできる。

自動の露出調整に戻すとき

**M**ボタンをタッチする。

[×]

## 4 タッチする

- 露出固定中は、画面に◪と露出の調整値が出る。



- 露出を手動で調整後、撮影モードを切り換えると自動調整に戻ります。
- 被写体を逆光下で撮影する場合でも、逆光を自動的に補正するため、被写体を明るく撮影できます。メニューの「自動逆光補正」で「切」にすることもできます。

# ピントを合わせる ビデオ 写真

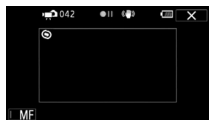
## フォーカス

自動でピントが合いにくい場合は、手動でピントの調整をします(マニュアルフォーカス)。なお、ズームを操作するときはピントを合わせる前に行ってください。

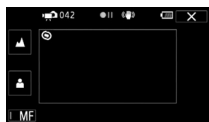
FUNC.

### 1 タッチする

### 2 フォーカスを選ぶ

(フォーカス)をタッチする。

### 3 ピントを合わせる

❶ 画面上の、ピントを合わせたい被写体をタッチする。

- タッチした場所にが点滅して、ピントが自動で調整され、ピントが固定される。
- **MF**ボタンがONになり、(近距離)と(遠距離)が出る。

❷ さらに調整するときは、または をタッチする。

- メニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大される。
- 操作中は、操作方向の目安として被写体との距離表示が数秒間出る。

❸ または をタッチし続ける。

- をタッチし続けて遠くのものにピントを合わせると、画面に∞が出る。花火や山などを撮影するときには∞に合わせる。
- ❶の操作のかわりに**MF**ボタンをタッチして、と で調整することもできる。

自動のピント合わせに戻すとき

**MF**ボタンをタッチする。

[ × ]

## 4 タッチする

- ピント固定中は、画面にMFが出る。

● 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを取り付けると、被写体との距離表示は正しく表示されません。

**POINT** 自動でピントが合いにくいときはどんなとき？

強い光が反射

動きが速い

夜景

画面の中央に
明暗の差がない

水滴が付いているガラス越しの撮影

# 近寄って大きく撮る

テレマクロ

ズームの望遠側でも、近寄って撮影することができます(テレマクロ)。花などの小さな被写体でも、拡大してピントを合わせられるので、背景をぼかして被写体を大きく強調したシーンにすることができます。

撮る 見る

FUNC.

## 1 タッチする

## 2 テレマクロを選ぶ

❶ 上下にドラッグして、「ZOOM」(ズーム)をタッチする。

❷ (テレマクロ)をタッチする。

- ボタンがONになり、自動的に望遠端までズームされる。

解除するとき

もう一度 をタッチする。

×

## 3 タッチする

テレマクロが解除される場合

- 電源を切ったとき。
- 🎥⇆▶を操作したとき。
- こだわりオートモードに切り換えたとき。
- ズームを手動で広角側にしたとき。
- 打ち上げ花火モードに切り換えたとき。

- 撮影中は、テレマクロを設定および解除することはできません。
- 最も近づいて撮影できる距離の目安は約40cmです(望遠端のとき)。

# 色合いを調整する ビデオ 写真

## ホワイトバランス

太陽光や電球など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなることがあります。そのようなときは、撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが**P**、シネマモードのときに調整できます。

撮る 見る

FUNC.

### 1 タッチする

WB

### 2 ホワイトバランスを選ぶ

❶ WB（ホワイトバランス）をタッチする。

❷ いずれかをタッチする。

- 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。

| | |
|---|---|
| AWB オート | 通常はAWB（オート）*を選択。自動的に自然な色合いに調整される。 |
| 太陽光 | 屋外で撮影するときに選択。 |
| 電球 | 電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。 |
| セット | 上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。 |

* AWBはAuto White Balance（オート ホワイト バランス）の略です。

(セット)を選んだとき

- 白紙、白布を画面いっぱいに写す。

❹「白取り込み」をタッチする。

- (セット)が点滅→消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

## 3 タッチする

**(セット)を選んで調整するとき**

- 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに(セット)が点滅→消灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

**AWB(オート)でうまくいかないとき**

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば(セット)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影。

# セルフタイマーを使う ビデオ 写真

家族や仲間たちと自分も一緒に撮影したいときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

FUNC.

## 1 タッチする

MENU

## 2 セルフタイマーを選ぶ

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。
❷「セルフタイマー」をタッチする。
❸「ON 入」をタッチする。

**解除するとき**

❸で OFF（切）をタッチする。

×

## 3 タッチする

- 画面に が出る。

## 4 動画の場合 押す

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる。

### セルフタイマーを解除するには

■ 撮影開始までの時間を表示中に、START/STOPボタン（動画のとき）やPHOTOボタン（静止画のとき）を押す。
■ 電源を切る。
■ ボタンを操作する。
■ AUTO/WEBボタン（HF R21）またはAUTOボタン（HF R200）を操作する。
■ スタンバイにする（□52）。

# 録音時の音量を変える

ビデオ
写真

## マイクレベル

内蔵マイクや外部マイクの録音時の音量(マイクレベル)を手動で調整できます。

FUNC.

### 1 タッチする

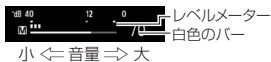
### 2 マイクレベルを選ぶ

M

上下にドラッグして、🎙(マイクレベル)→**M**(マニュアル)をタッチする。

- レベルメーターと調整用の(◀)(▶)が出る。

### 3 マイクレベルを調整する

(◀)
(▶)

(◀)または(▶)をタッチして調整する。

- レベルメーターの表示が－12dBよりも右の位置で時々点灯するように調整する。
- 音声ミックスがONのときは、レベルメーターにINT(内蔵マイク)とEXT(外部音源)レベルが表示される(📖110)。

#### 自動調整に戻すとき

**A**(オート)をタッチする。

## 4 タッチする

- 調整した位置で録音レベルが固定される。

**POINT 自動調整のときにレベルメーターを表示する**

レベルメーターを常に表示して、録音時の音量を確認することができます。

❶ **A**（オート）をタッチする。
❷「レベルメーター」をタッチする。
- レベルメーターが出る。

❸ [×] をタッチする。

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください（□252）。
- マイクレベルを調整したり、「マイクアッテネーター」を使ったりするときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします（□107）。

# ヘッドホンを使う ビデオ 写真

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

## ■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

(ヘッドホン)端子は、AV OUT端子と兼用です。ヘッドホンを使うときは、まずメニューで切り換えます(261)。こだわりオートモードでヘッドホンを使うときは、あらかじめ応用モードで設定を切り換えてください。

撮る 見る

FUNC.

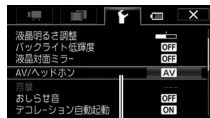
**1 タッチする**

- 見るモードのときは、この操作は不要。

MENU

**2 ヘッドホンを選ぶ**

液晶明るさ調整
バックライト低輝度 OFF
液晶対面ミラー OFF
AV/ヘッドホン AV
音量
おしらせ音 OFF
デコレーション自動起動 ON

❶ MENU(メニュー)→ をタッチする。
❷ 上下にドラッグして「AV/ヘッドホン」をタッチする。
❸ → をタッチする。

**3 ヘッドホン音量を調整する**

❶ 上下にドラッグして「音量」をタッチする。
❷ または をタッチして調整する。

4 タッチする

- Ωが出る。
- 調整した位置で音量が固定される。

## ■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

撮る 見る*

* 静止画の場合、スライドショーで音楽と一緒に再生しているときのみ調整できます。

1 再生中 音量を調整する

❶ 画面上をタッチして、操作ボタンを出す。
❷ をタッチする。
❸ またはをタッチして音量を調整する。

- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。
- 画面にΩが出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。雑音によって耳を痛める恐れがあります。

- 再生時に設定した「AV/ヘッドホン」は、電源を切ると「AV」に戻ります。

# 外部マイクを使う

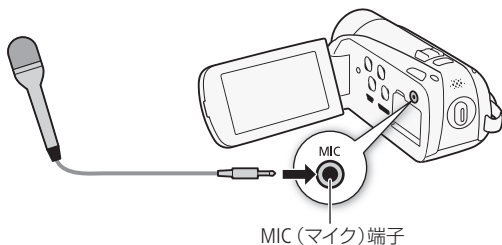
ビデオ
写真

とらえたい音声を確実に記録したいときや、音を録る範囲を指定したいときなど、目的に応じて市販のマイクや別売のワイヤレスマイクロホンWM-V1を使用することで、記録される音声の表現がより豊かになります。

撮る 見る

## ■ MIC（マイク）端子に接続する

本機のMIC（マイク）端子に市販のマイクを接続します。音声を記録するときはマイクを手に持つなどして使います。

MIC（マイク）端子

## ■ ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）を使う

ワイヤレスマイクロホンWM-V1を使うと、様々な環境での音声を収音することができます。WM-V1は、マイクとレシーバーで構成されており、レシーバーをビデオカメラと接続し、マイクを被写体に取り付けると、ビデオカメラの内蔵マイクでは録音しにくい音声でも収音できます。また、WM-V1の音声と、ビデオカメラの内蔵マイクの音声をミックスして記録することもできます。

レシーバー　マイク

ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）の取り付けかたや操作については、WM-V1の使用説明書をご覧ください。

## ■ 接続するマイクの種類を選ぶ

MIC（マイク）端子に接続する外部マイクの種類を選びます。

### 1 外部入力機器をMIC端子につなぐ

FUNC.

### 2 タッチする

MENU

### 3 入力する音声を選ぶ

❶ 上下にドラッグして「MIC端子入力選択」をタッチする。

❷「MIC マイク」を選ぶ。

❸ をタッチする。

■ 音声をミックスして記録する

外部機器（MIC端子入力）からの音声と内蔵マイクからの音声を、バランスを変えながらミックス（混合）して記録することができます。

1 外部入力機器をMIC端子につなぐ

[FUNC.]

2 タッチする

[MENU]

3 音声ミックスを選ぶ

❶ 上下にドラッグして「音声ミックス」をタッチする。

❷ ON（入）をタッチする。

● レベルメーターとバランス調整バーが表示される。

[INT]
[EXT]

4 ミックスする音声のバランスを調整する

バランス調整バーの[INT]（内蔵マイク）または[EXT]（MIC端子入力）をタッチして、音声のバランスを調整する。

×

## 5 タッチする

- 静かな場所で撮影するときに、内蔵マイクが本体の振動音を収音してしまうことがあります。このような場合は、外部マイクの使用をおすすめします。
- 市販のマイクを使うときは、電源内蔵タイプのコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどが使用できます。音量は内蔵マイクと異なります。
- 外部マイク接続中、メニューで設定した「ウィンドカット」は自動的に「切」になります。
- 音声がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください。それでもひずむときは、マイクレベルを調整してください（252）。

# お好みのコマから再生する ビデオ 写真

タイムライン

1シーンの中からお好みのコマを選んで、選んだコマから再生できます。コマの一覧には、「コマ間隔」で選んだ一定の時間ごとのコマが表示されます。なお、コマの間隔は変更することができます。

撮る 見る

## ■ 時間単位のコマ一覧から再生する（タイムライン）

i

### 1 シーンを選ぶ

❶ i をタッチする。

❷ シーンをタッチする。

### 2 コマを選ぶ

他のシーンを見るとき

◄ または ► をタッチする。

次／前の5つのコマを表示するとき

左右にドラッグする。

コマの間隔を変えるとき

❶「6秒」をタッチする。

❷ いずれかを選ぶ→［⮌］をタッチする。

インデックス画面に戻るとき

［⮌］を2回タッチする。

## 3 コマをタッチする

- 再生が始まる。

# 画面の表示を切り換える ビデオ 写真

画面に表示する撮影情報などを切り換えられます。

撮る 見る

DISP./BATT. INFO

**押す**

- 表示される撮影情報は、押すたびに切り換わる。

例： 動画撮影中の場合

すべて表示　　表示なし

●や●IIは表示される。

## POINT 表示される内容や切り換わりかた

| | | | |
|---|---|---|---|
| 動画撮影中 | すべて表示 | → | 表示なし*1 |
| 動画再生中*2 | メニューの「データコード表示」の設定情報を表示 | → | すべて表示 |
| 静止画再生中*2 | メニューの「データコード表示」の設定情報を表示 | → | すべて表示 |

*1 メニューで設定したマーカー、レベルメーターは表示される。
*2 画面をタッチすると、設定内容にかかわらず操作ボタンが出る。

### データコードとは？

日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり）などの撮影情報を「データコード」といいます。データコードはメニューの「データコード表示」で切り換えられます（□256）。

# 三ツ星シーンを決める

レーティング

撮った動画に星をつけて、レーティング（お気に入り度）を設定することができます。シーンを評価して、気に入ったシーンに三ツ星や二ツ星をつけておくと、お気に入りのシーンだけを絞り込んで、再生や編集ができて便利です。たくさんの三ツ星を記録しましょう。

撮る 見る

## ■ 撮影直後にレーティングする

撮影するたびにレーティングを設定することができます。画面に表示される「★★★」（三ツ星）、「★★・」（二ツ星）、「★・・」（一ツ星）、「・・・」（未評価）または「---」（NG）のいずれかを選んでタッチすると、撮影したときの印象を毎回記録していくことができます。

FUNC.

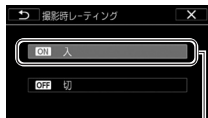
### 1 タッチする

MENU

### 2 撮影時レーティングをONにする

❶ MENU →［ ］をタッチする。

❷ 上下にドラッグして「撮影時レーティング」をタッチする。

❸ ON（入）をタッチ→［ × ］をタッチする。

## 3 撮影する

START/STOPボタンを押す。

- 撮影が終わるとレーティング選択の画面が出る。

## 4 タッチする

いずれかの「★」をタッチする。

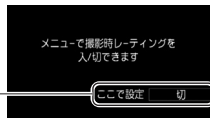
- 撮影待機中の画面に戻る。

**撮影ごとのレーティングをしないとき**

① [×]をタッチする。

- 設定変更の画面が出る。

② 「ここで設定」で「切」をタッチする。

ビデオ

## ■ 再生シーンにレーティングする

# 1 「ギャラリー」画面に切り換える（□60）

# 2 シーンを選ぶ

❶ 左右にドラッグして目的の「作品」を選ぶ。

❷ 「シーン一覧」をタッチする。

❸ 上下にドラッグして目的のシーンのオレンジ色の枠にタッチする。

- ［シーン編集］の画面が出る。

# 3 レーティングする

❶ いずれかの「★」にタッチする。

- 選んだレートの「★」が点灯する。

❷ ［戻る］をタッチする。

- 選んだシーンに「★」が付く。

❸ ［戻る］をタッチする。

## ■ 再生中に気に入った場面でレーティングする

「作品」を再生しながら、気に入った場面のシーンにレーティングを設定できます。

### 1 「ギャラリー」画面に切り換える（□60）

### 2 作品を選ぶ

左右にドラッグして目的の「作品」を選ぶ→タッチする。

- 「作品」が再生される。

### 3 気に入った場面で再生一時停止にする

液晶画面上をタッチ→［❚❚］をタッチする。

### 4 レーティングする

❶ ［編集］→「レーティング」をタッチする。

❷ いずれかの「★」をタッチ→［×］をタッチする。

❸ 必要に応じて、［▶］をタッチしてふたたび再生し、操作2 ～操作3を繰り返す。

❹ ［■］をタッチする。

ビデオ

## ■ シーンをレーティングで絞り込んで見る(再生レーティング)

### 1 「ギャラリー」画面に切り換える(□60)

### 2 レーティングで絞り込む

❶ 左右にドラッグして目的の「作品」を選ぶ。

❷ 「作品詳細」をタッチする。

❸ 「再生レーティング」をタッチする。

- [再生レーティング]の画面が出る。

❹ いずれかの「★」を選ぶ→(⮌)をタッチする。

### 3 再生する

シーンをタッチする。

- 選んだレーティングのシーンが再生される。

- レーティングしたシーンがないときはメッセージが表示され、[作品詳細]の画面に戻る。

## POINT 「再生レーティング」画面の見かた

再生レーティングでは、シーンに設定したレーティングごとに絞り込んで再生することができます。絞り込みには❶〜❻の方法があります。レーティングをしておくと、お気に入りにシーンを選んで手軽に見ることができます。

❶ ★★★
- 三ツ星シーンが選択される。

❷ ★★★ / ★★•
- 三ツ星と二ツ星シーンが選択される。

❸ ★★★ / ★★• / ★• •
- 三ツ星と二ツ星と一ツ星シーンが選択される。

❹ • • •
- 評価していないシーンが選択される。

❺ – – –
- NG評価にしたシーンが選択される。

❻ すべて
- すべてのシーンが選択される。

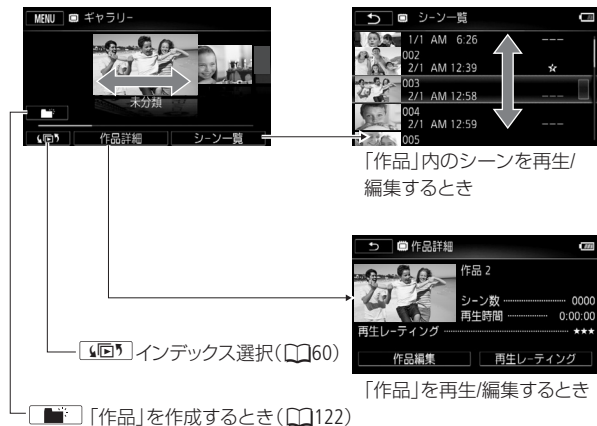
# ギャラリーに作品を作る

## 「作品」作成

ギャラリーには、「未分類」と「ビデオスナップ」の2つのグループがあります（ご購入時の状態）。さらにお好みで新しいグループを「作品」として作ることができます。「作品」を作ると、見たいシーンやお気にいりのシーンを目的ごとに整理して収納することができ、自分の「作品」でライブラリーを作ることができます。

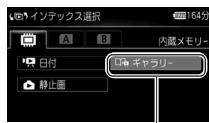
撮る 見る

### ■「ギャラリー」画面の操作

「ギャラリー」画面では、「作品」の作成や「作品」または「作品」内のシーンごとに再生や編集を行うことができます。

## ■「ギャラリー」に新しい「作品」を作る

1 タッチする

2 「ギャラリー」をタッチする

- 「ギャラリー」画面が出る。

3 新しい「作品」を作る

❶ （新規作成）をタッチする。

- 次に作られる「作品」番号の確認画面が表示される。

❷ 「はい」を選ぶ。

**「作品」の作成を止めるとき**

❷で「いいえ」を選ぶ。

- 一つの記録メモリーの中で、「未分類」と「ビデオスナップ」以外に新しく作成できる「作品」の上限数は98です。なお、「未分類」と「ビデオスナップ」を削除することはできません。

# ギャラリーのシーンを消す

ビデオ 写真

消去／作品消去

ギャラリー内の不要なシーンを消去できます。消去は、1シーンごとまたは「作品」（全シーン）ごとにまとめて行うことができます。

撮る 見る

## ■「作品」内の1つのシーンを消す

1 「ギャラリー」画面に切り換える（□60）

2 シーンを選ぶ

❶ 左右にドラッグして、目的の「作品」を選ぶ。

❷「シーン一覧」をタッチする。

❸ 上下にドラッグして目的のシーンのオレンジ色の枠にタッチする。

3 シーンを消す

❶ 🗑をタッチする。

❷「はい」を選ぶ→「OK」をタッチする。

- シーンが消去され、[シーン一覧]の画面に戻る。

シーンの消去を止めるとき

❷で「いいえ」を選ぶ。

❸ ⮌ をタッチする。

## ■「作品」を消す

新しく作成した「作品」は、「作品」ごとに消去することができます。

### 1 「ギャラリー」画面に切り換える（□60）

### 2 「作品」を選ぶ

❶ 左右にドラッグして、目的の「作品」を選ぶ。
❷「作品詳細」をタッチする。
❸「作品編集」をタッチする。

### 3 「作品」を消す

❶「作品消去」をタッチする。

❷「はい」をタッチする。

**「作品消去」を中止するとき**

「中止」をタッチする。

❸「OK」をタッチする。

ビデオ

## ■「作品」内のシーンを絞り込んで消す

### 1 前ページの操作2までを行う

### 2 シーンを選ぶ

❶「消去」をタッチする。

❷ 目的のレートの「★」にタッチする。

- 選んだレートの「★」が点灯する。
- レーティングされたシーンがない場合は、「★」はグレーで表示される。

**複数のシーンを選ぶとき**

❷の操作を繰り返して追加するシーンを選ぶ。

### 3 シーンを消す

❶「決定」をタッチする。

❷「はい」をタッチする。

**「消去」を中止するとき**

「中止」をタッチする。

❸「OK」をタッチする。

ご注意

- 「ギャラリー」からシーンを消去すると、「日付」からもシーンが消去されます。

# ギャラリーのシーンを並べ換える

コピー／移動

ギャラリー内の作品シーンをお好みの順に並べ換えられます。
「作品」の中で、1シーンずつ順番を並べ換えることや、「作品」の中の全シーンをそのまま別の「作品」の中に移動することができます。

撮る 見る

## ■ 1シーンずつ選んでコピーまたは移動する

**1** 「ギャラリー」画面に切り換える（□60）

**2** シーンを選ぶ

❶ 左右にドラッグして、目的の「作品」を選ぶ。

❷ 「シーン一覧」をタッチする。

❸ 上下にドラッグして目的のシーンのオレンジ色の枠にタッチする。

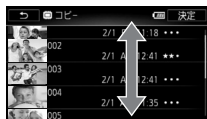
## 3 コピーまたは移動先を選ぶ

❶「コピー」または「移動」をタッチする。

❷ 左右にドラッグして、コピーまたは移動先の「作品」を選ぶ→タッチする。

**移動先/コピー先の「作品」にシーンがあるとき**

- 選んだ「作品」のシーン一覧が表示される。

❸ 上下にドラッグして、移動またはコピーしたい位置にオレンジの線を合わせる。

## 4 コピーまたは移動する

❶「はい」をタッチする。

- 「移動」の場合、対象のシーンは元の「作品」から消去される。

❷「OK」→［戻る］をタッチする。

**コピーの場合：中止するとき**

❶の後、「中止」をタッチする。

## ■ シーンを絞り込んで別の「作品」に移動する

### 1 「ギャラリー」画面に切り換える（□60）

### 2 「作品」を選ぶ

❶ 左右にドラッグして、コピーまたは移動するシーンのある「作品」を選ぶ。

❷ 「作品詳細」→「作品編集」をタッチする。

### 3 「作品」内シーンを絞り込む

❶ 「作品間移動」をタッチする。

❷ 目的のレートの「★」にタッチする。

- 選んだレートの「★」が点灯する。
- レーティングされたシーンがない場合は、「★」はグレーで表示される。

**複数のシーンを選ぶとき**

❷の操作を繰り返して追加するシーンを選ぶ。

❸ 「決定」をタッチする。

- 他の「作品」が表示される。

ビデオ

## 4 シーンを別の「作品」に移動する

❶ 左右にドラッグして目的の「作品」をタッチする。

❷ 「はい」を選ぶ。

- シーンが移動し、[作品詳細]の画面に戻る。

**別の作品に移動するのを止めるとき**

❷で「いいえ」を選ぶ。

❸ [↩]をタッチする。

- 新しく作った「作品」から「未分類」および「ビデオスナップ」にシーンをコピーしたり移動したりすることはできません。
- 移動先のシーンや「作品」を消すとビデオカメラから削除されます。

# シーンを音楽と一緒に再生する

ギャラリー内の「作品」やビデオスナップ、「日付」のシーンを好きな音楽と一緒に再生すると、短編映画のような映像を楽しむことができます。携帯オーディオプレーヤーなどとつないで、好きな音楽と一緒に再生することもできます。

撮る 見る

## ■ ビデオカメラ内の音楽と一緒に再生する

映像と一緒に記録された音声(以下「音声」と記載)と音楽(BGM)をミックスして再生できます。ミックスする音声と音楽のバランスを変更することもできます。

### 1 「日付」インデックスまたは「ギャラリー」画面に切り換える(□60)

### 2 BGMを選ぶ

❶ MENU (メニュー)→「BGM選択」→ ON (入)をタッチする。

❷ ▲ または ▼ をタッチして曲の番号を選ぶ。

- ▶ (再生)をタッチすると曲が試聴できる。もう一度タッチすると停止する。
- OFF (切)をタッチすると撮影時の音声が再生される。

曲を消すとき ❷の後、🗑→「はい」をタッチする。



ビデオ

## 3 ミックスする音声と音楽のバランスを設定する

❶ [映像]または[♫]をタッチして、バランスを調整する。

- メーターを[映像]寄りにするとBGMが大きく、[♫]寄りにすると音声が大きくなる。中央にすると1対1のバランスに調整される。

❷ [×]をタッチする。

## 4 シーンまたは「作品」をタッチする

- 映像と音楽が再生される。

**再生中に音楽と音声のバランスを調整するとき**

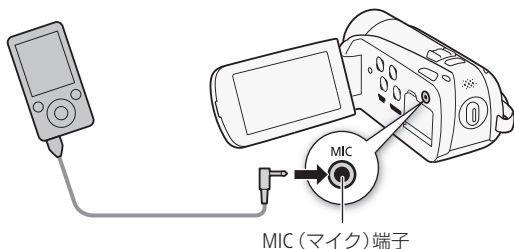
❶ 再生中のシーンまたは「作品」をタッチして、操作パネルを出す。

❷ [♫映像]をタッチする。

❸ [映像]または[♫]をタッチして、バランスを調整する→[↶]をタッチする。

## ■ オーディオプレーヤーの音楽と一緒に再生する

お気に入りの「作品」やシーンに好きな音楽を重ねて、より印象的な映像にして楽しめます。

### プレーヤーと接続する

MIC（マイク）端子

本機のMIC（マイク）端子には、φ3.5 mmステレオミニプラグが接続できます。

### 操作する

1 「日付」インデックスまたは「ギャラリー」画面に切り換える（□60）

2 外部音源入力を選ぶ

❶ [MENU]（メニュー）をタッチする。

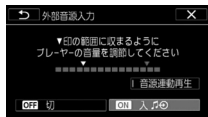
❷ 上下にドラッグして、「外部音源入力」→「ON 入」をタッチする。

( × )

## 3 音量を調節する

❶ プレーヤーの音楽を再生する。

- 現在の音量がレベルメーターに表示される。

❷ レベルメーターの表示が2つの▼の間に収まるように、プレーヤーの音量を調整する。

**プレーヤーの音楽と連動して再生するとき**

プレーヤーの音楽を停止して、「音源連動再生」をタッチする。

❸ ( × )をタッチする。

## 4

**「音源連動再生」がOFFの場合**

### 「作品」やシーンをタッチする

- プレーヤーの音楽と一緒にシーンが再生される。
- 映像と音楽の停止は連動しない。

**「音源連動再生」がONの場合**

### プレーヤーを再生する

- 選んだ「作品」や「日付」インデックスの最初の映像から自動で再生される。
- プレーヤーの音楽が終了すると、映像は自動的に再生一時停止になる。音楽が始まると、映像の再生が再開される。
- 映像の再生が終了しても、プレーヤーの音楽は自動的に停止しない。

- 本機能で複製した音楽著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。責任を持ってご使用ください。

MEMO

- メモリーを初期化すると、パソコンから転送した音楽が消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていた音楽は消去されません。
- カードに記録した「作品」を音楽と一緒に再生する場合、音楽は付属の動画用ソフトウェアPIXELA社製 Transfer Utility/VideoBrowserを使って付属の「フォトアプリケーションVer.35/音楽データ/画像ミックスデータディスク」から転送できます。その際、再生する動画と同じカードに保存してください。詳しくはTransfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書(PDF)をご覧ください。
- スライドショーの再生時に、プレーヤーなど外部の音楽と連動して再生することもできます。
- 外部機器の音量が小さすぎる、外部機器からの音声信号にノイズが入るなどによって、映像が音楽に連動して再生されないことがあります。
- 据え置き型のCDプレーヤーなど、機器側で音量の調節ができない場合、音量が大きすぎるときは、自動的に音量を下げます。

# 映像からビデオスナップや写真を作る

撮影した映像から4秒間*のビデオスナップを作ったり、写真として切りとったりすることができます。

* 記録時間は、メニューの「ビデオスナップ記録時間」で変更できます（□257）。

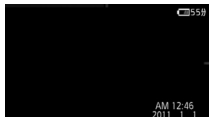
## ■ 映像からビデオスナップを作る

### 1 シーンをタッチする

- 再生が始まる。
- ビデオスナップを作成するシーンを再生する。

### 2 押す

- 4秒間のビデオスナップが作成され、再生一時停止になる。
- ビデオスナップ作成中は青い枠が動き、作成後はシャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。

■

### 3 タッチする

- 再生を停止する。

- 再生中のみビデオスナップを作成できます。再生一時停止中は作成できません。
- 元のシーンと同じメモリーに保存されます。
- 再生中のシーンから作成したビデオスナップは、再生したシーンのある「作品」の最後に記録されます。

ビデオスナップを作成できない場合

- 約1秒未満のシーンのとき。
- 付属のVideoBrowserで編集して本機に書き戻したシーンのとき。

再生中のシーンがビデオスナップの場合、作成元となるシーンの記録時間によってはビデオスナップを作成できないことがある。

- シーンの終わりから約1秒以内の位置で作成すると、次のシーンの先頭からのビデオスナップになります。
- 再生中のシーンから作ったビデオスナップは、再生時、シーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

## ■ 映像を写真として切りとる(あとからフォト)

撮影した映像を再生して、気に入った場面を静止画として切りとることができます。切りとられる静止画のサイズは 16:9 (1920×1080) に設定されます。
Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」(□138)を確認してください。

### 1 静止画を切りとるシーンを再生する

シーンをタッチする。

- 再生が始まる。

[II]

### 2 静止画を切りとる位置で再生一時停止にする

画面上をタッチする→ II をタッチする。

### 3 深く押す

- Eye-Fiカードをカードスロット B に入れ、記録先に設定して静止画を切り取ると、見るモードに切り換えたとき通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（□200）。

- 動画を撮影したときの日付や時刻が、静止画の撮影日時として設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメモリーに記録されます。

# シーンを分割する ビデオ 写真

## 分割

撮影したシーンは分割できます。分割することで、必要な部分だけを残したシーンにできます。

撮る 見る

## 1 分割するシーンを再生一時停止にする

❶ シーンや「作品」をタッチする。
- 再生が始まる。

❷ 画面上をタッチ→［II］をタッチする。
- 一時停止になる。

## 2 分割を選ぶ

［編集］→「分割」をタッチする。

## 3 分割する位置を決める

❶ 分割する位置を探す。
- ［▶］をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止になる。

| 再生中 | ◀◀／▶▶ | 早戻し／早送り |
|---|---|---|
| 一時停止中 | ◀II／II▶ | コマ戻し／コマ送り |

❷ 分割する位置で一時停止にする。

映像からビデオスナップや写真を作る／シーンを分割する

## 4 分割する

「✂分割」→「はい」をタッチする。

- 分割した元のシーンの次に挿入される。



- 分割する位置を決めるときのコマ戻し／コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

### 分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。
- 付属のVideoBrowserで編集して本機に書き戻したシーンのとき。

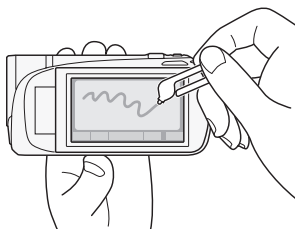
# デコレーションして楽しむ

デコレーション

画面にタッチして、自由に文字やマークを手描きしたり、かわいいアニメーションをスタンプしたりして、撮影しながら映像を楽しく飾り付ける(デコレーション)ことができます。撮っているときの嬉しい気持ちをずっと見せたくなる作品にして残せます。

撮る 見る

## ■ スタイラスペン(付属)を使う

付属のスタイラスペンを使うとより自在に描画できます。

● メニューの「デコレーション自動起動」をONにしているときは、液晶画面を反転して(表側にして)閉じると、デコレーションモードの画面に切り換わります(□261)。

## ■ デコレーションモードの画面

デコレーションモードの画面には、自由に描画できる「キャンバス」と描画に使うツールが並ぶ「ツールバー」があります。ツールバーからお好みのツールを選んで、キャンバスに描画します。

| ツールのマーク | ツール名 | 機能 |
|---|---|---|
| | ペン&スタンプ | ペン、クレヨンなどのペン先、星などのマークを選べ、さらにペン先やマークの色を選択できる。「キャンバス」にペンで線を描いたり、マークでスタンプしたりできる。描いた図形などは保存することもできる(1種類のみ)。 |
| | アニメーション | アニメーションのパターンを選び、「キャンバス」の好きな位置に表示させて記録することができる。 |
| | 日時 | 「キャンバス」の好きな位置に日付または時刻を表示させて記録することができる。 |
| | 画像ミックス | 27種類のフレームを選んで、合成することができる。ペン&スタンプやアニメーションと組みあわせて記録することもできる。 |
| (/▶(再生時)) | 画面静止 | デコレーションするときに画面を静止させる。静止中も、動画の記録が可能。 |
| ( ) | ツールバー移動 | 画面の左上にツールバー縮小して移動する。 |

## ■「ペン&スタンプ」でデコレーションして撮る

FUNC.

# 1 タッチする

- 液晶画面を反転収納してもデコレーションモードの画面に切り換わる。
- メニューの「デコレーション」が OFF（切）のときは ON（入）にする。

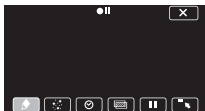
# 2 デコレーションを選ぶ

❶ 上下にドラッグして（デコレーション）をタッチする。

- デコレーションモードの画面が出る。

# 3 「ペン&スタンプ」を選ぶ

❶ をタッチする。

- 「ペン&スタンプ」画面が出る。

❷ 「ツール選択」でペンまたはスタンプの種類を選ぶ。

- デコレーションモードの画面に戻る。

ツールの色を変えるとき

❶ [pen icon] をタッチする。

❷ 「色選択」で白または黒のいずれかを選ぶ。

- [dropper icon] をタッチして、色を選ぶこともできる。
- デコレーションモードの画面に戻る。

## 4 描く

「キャンバス」にタッチして線やマークを描く。

描画した「キャンバス」を消すとき

「クリア」→「はい」をタッチする。

- 確認画面が表示され、「キャンバス」が消去される。

描画した「キャンバス」を残しておくとき

「保存」→「はい」をタッチする。

- 確認画面が表示され、「キャンバス」が保存される。

描画した「キャンバス」を読み込むとき

「読み込み」→「はい」をタッチする。

- 確認画面が表示され、直前に保存した「キャンバス」が読み込まれる。

## 5 押す

- 画面に描画した線やスタンプが撮影中のシーンに記録される。

## ■「アニメーション」をデコレーションして撮る

## 1 デコレーションモードの画面を表示させる

## 2「アニメーション」を選ぶ

❶ [ ] をタッチする。
- アニメーションのパターン番号が表示される。

❷ いずれかをタッチする。

## 3 記録する

❶ START/STOPボタンを押す。

❷ 画面をタッチしてアニメーションを表示させる。
- 選んだアニメーションが撮影中のシーンと一緒に記録される。

## ■「日付」と「時刻」をデコレーションして撮る

FUNC.

### 1 デコレーションモードの画面を表示させる

### 2「日時」を選ぶ

❶ [⊙] をタッチする。

❷「日付」、「時刻」のいずれか、または両方をタッチする。

❸「(白文字、背景あり)」または「(白文字)」、「(黒文字)」のいずれかをタッチ→[↩]をタッチする。

- 「キャンバス」の中央に選んだ日時が出る。

❹ 表示された「日付」または「時刻」をドラッグして、好きなところに移動させる。

### 3 押す

- 「日付」または「時刻」が撮影中のシーンと一緒に記録される。

ビデオ

## ■「画像ミックス」でデコレーションして撮る

### 1 デコレーションモードの画面を表示させる

### 2 「画像ミックス」を選ぶ

❶ [画像ミックス] をタッチする。

**動画の記録/再生メモリーがカードのとき**

ミックス画が保存されているメモリーをタッチする。

❷「ON」をタッチする。

❸「＋」または「－」をタッチしてミックス画を選ぶ。

❹ [戻る] をタッチする。

- 選んだミックス画と撮影する映像が表示される。

### 3 押す

- 選んだミックス画が撮影中のシーンと一緒に記録される。

## POINT 作った画像をミックス画として使う

❶ パソコン 作成した画像をミックス画の形式で内蔵メモリー*またはカードに保存する(□276)。

* HFR21 の場合。

● 切り抜きたい部分を緑または青にする。

作成したミックス画の例

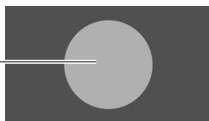
❷ ■(デコレーション)→■(ミックス画選択)→「ON」をタッチする。

❸ 「+」または「−」をタッチして、❶で保存したファイルの番号を選ぶ。

❹ (▶)をタッチする→いずれかの「クロマキー設定」を選ぶ。

❺ バー左右の(◀)または(▶)をタッチして切り抜き具合を調整する→「クロマキー設定」の右の(▶)をタッチする。

● バー上をドラッグして調整することもできる。

❻ (◀)または(▶)をタッチするかバー上をドラッグして、「透過設定」を調整する→(⮌)をタッチする。

## ■「画面静止」でデコレーションして撮る

FUNC.

# 1 デコレーションモードの画面を表示させる

## 2 「画面静止」を選ぶ

❶ [II] をタッチする。

- [▶II◀] に表示が変わり、画面の映像が静止する。
- 静止中は、ツールを選んで自由にデコレーションできる。

❷ [▶II◀] をタッチする。

- 再び撮影中の映像が表示される。

## 3 押す

- 描画したデコレーションが静止中のシーンと一緒に記録される。
- START/STOPボタンを押し、デコレーションしながら記録することもできる。

- 直前に描画した「キャンバス」を保存できます。
- 描画した「キャンバス」は、内蔵メモリー( HFR21 )またはカードA ( HFR200 )に保存されます。
- 保存した「キャンバス」は、内蔵メモリー( HFR21 )またはカードA ( HFR200 )を初期化すると消去されます。
- 「アニメーション」でデコレーションしているときは、「日時」を表示させたり記録したりすることはできません。
- メニューの「動画記録」が「[内蔵メモリー] (内蔵メモリー)」のとき、「[A] (カードA)」または「[B] (カードB)」に記録されているミックス画は選択できません( HFR21 )。

## ■ 再生シーンにデコレーションして見る

再生するシーンにも撮影中と同じようにデコレーションして見ることができます。なお、再生しているシーンにデコレーションしても記録されません。記録するときは変換（ダウンコンバート）しながら記録します（□190）*。

* HF R21 の場合。

### 1 デコレーションするシーンを再生する

- 画面をタッチして、操作パネルを表示する。

### 2 タッチする

- 「キャンバス」と「ツールバー」が表示される。

### 3 目的のツールを選んでデコレーションする（□143～149）

- 再生中や変換中は、ミックス画を選択することができません。画像ミックスを行うときは、あらかじめミックス画を選択しておいてください。

Chapter

# 4

# 写真

Taking and Viewing Photos

# 写真を見る

ビデオ 写真

## 1 押す

- 「日付」インデックス画面が出る。

## 2 押す

## 3 見たい静止画を探す

メモリーや表示内容を切り換える（□60）

## 4 静止画をタッチする

- 静止画が再生される(1枚表示画面)。
- 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。

## ■ 再生中に他の静止画にジャンプする(静止画ジャンプ)

### 1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

### 2 タッチする

### 3 ジャンプバーのつまみを左右にドラッグする

- ジャンプ先の静止画が再生される。

### 4 タッチする

## ■ インデックス画面を出す

静止画再生中にインデックス画面に切り換える方法です。

**1** 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

**2** タッチする

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - ■ カードカバーを開けない。
  - ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - ■ AUTO/WEBボタン（HF R21）またはAUTOボタン（HF R200）を押さない。
  - ■ ボタンを押さない。

- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - ■ 本機以外の製品で記録したとき。
  - ■ パソコンで作成や加工をしたとき。
  - ■ パソコンでファイル名を変更したとき。

# 写真を消す

ビデオ 写真

静止画消去

不要な静止画は消去できます。再生中の静止画を消す方法と、選んだ静止画やすべての静止画をまとめて消す方法とがあります。

撮る 見る

## ■ 再生中の静止画を消す

### 1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

編集

### 2 消去を選ぶ

❶ 編集 →「消去」をタッチする。

- 消去画面が出る。
- 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。

❷「実行」をタッチ→「はい」をタッチする。



×

### 3 タッチする

### ■ 選んだ静止画／すべての静止画をまとめて消す

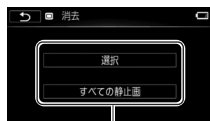
（再生ボタン）

# 1 静止画インデックスに切り換える（📖60）

（編集）

# 2 消去方法を選ぶ

❶ （編集）→「消去」をタッチする。

❷「選択」または「すべての静止画」を選ぶ。

# 3 静止画を選ぶ

「選択」を選んだとき

❶ 消す静止画をタッチする。

- ☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して、消去する静止画をすべて選ぶ。

「すべての静止画」を選んだとき

- 消去内容の確認画面が出る。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

（実行）

## 4 静止画を消す

「選択」を選んだとき

❶ （実行）→「はい」をタッチする。

「すべての静止画」を選んだとき

❶ 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部の静止画は消去される。

❷ 「OK」をタッチする。

- **一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。**
- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。

# 写真を撮る

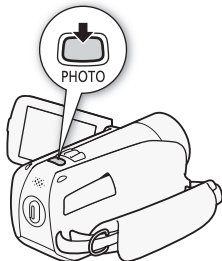
ビデオ
写真

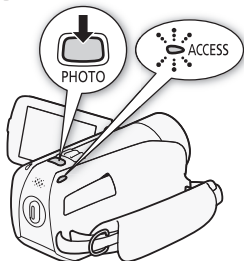
静止画は内蔵メモリー*とカードに記録できます。

* HF R21 の場合。

## 1 ONにする

- カードに記録するとき（□32）。
- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（□159）を確認してください。

## 2 浅く押し続ける

- ピントを調整し、終わると●が緑色になって緑色の枠が出る。

## 3 深く押す

- ACCESSランプが点滅。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - モードスイッチを切り換えない。
  - 🎥⇆▶ボタンを押さない。

- Eye-FiカードをカードスロットBに入れ、記録先に設定した場合、静止画を記録して見るモードに切り換えると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（📖200）。

- メニューの「フリッカー低減」の設定を「50Hz」または「60Hz」にしているときは、撮影時のシャッタースピードはオートになります。

静止画を記録できない場合

- メニューの「フレームレート」の設定をPF30またはPF24にしているとき。
- デジタルズーム領域のとき。

# サイズを選ぶ

ビデオ 写真

静止画のサイズは、16:9と4:3のいずれかの大きさを選ぶことができます。16:9を選ぶとワイド画面で撮影できます。

FUNC.

## 1 タッチする

MENU

## 2 サイズを選ぶ

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「静止画サイズ」をタッチする。

❸ いずれかのサイズをタッチする。

撮影できる枚数の目安

×

## 3 タッチする

● こだわりオートモードに切り換えても設定したサイズは保持されます。

## POINT カードに記録できる枚数の目安

| 静止画サイズ | 16:9 (1920 X 1080)* | 4:3 (2016 X 1512) |
|---|---|---|
| 1GB | 670 | 455 |

- サイズ設定や撮影条件または被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。

* あとからフォト（137）のとき。

静止画サイズによって用途が異なります。

16:9 ：ワイドサイズの用紙に印刷するときやワイドテレビで見るとき

4:3 ：A4サイズまでを印刷するとき

# 写真でも使える便利機能

静止画記録時でも、動画のときと同じようにズームやセルフタイマーを使ったり、明るさを調整したりできます。

49 拡大して撮る

ズーム

光学ズームによって20倍まで拡大して撮影(望遠撮影)できます。

52 すばやく撮影をはじめる

クイックスタート

液晶画面を閉じると省エネ状態で待機します。液晶画面を開くと、約1秒で撮影可能状態に戻ります。

79 場面に合わせて撮る

シーンモード

海に沈む夕日や夜空を彩る打上げ花火など、場面に合わせてきれいに撮影します。

87 顔を検出してきれいに撮る

フェイスキャッチ&追尾

人物の顔を検出して、自動的にピントや明るさを調整します。

91 場面の切り換えと特殊効果

デジタルエフェクト

思い出の写真にセピア色などの効果をつけることができます。

93 明るさを調整する

露出

強い光が被写体に当たるときなどに明るさを調整します。

100 色合いを調整する

ホワイトバランス

撮影時の光に応じて、色合いを調整します。

102 セルフタイマーを使う

約10秒間カウントダウンした後に撮影されます。

写真

# 順番に再生する

ビデオ
写真

## スライドショー

音楽と一緒に静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見るときなどに便利です。音を出さないで再生することもできます。

撮る **見る**

### ■ 音楽と一緒に再生する

1 **選曲する**

カメラ内の音楽のとき

130ページの操作2を行う→［×］をタッチする。

プレーヤーなどの音楽のとき

132ページの操作2〜3を行う。

2 「音源連動再生」がONの場合
**プレーヤーを再生する**

- インデックス画面の最初の静止画からスライドショーが始まる。

「音源連動再生」がOFFの場合

## スライドショーを開始する

❶ スライドショーを開始する静止画をタッチする。

❷ 画面上をタッチ→[▶](再生)をタッチする。

- スライドショーと音楽の再生が始まる。

音量を変えるとき

🔉または🔊をタッチする。

スライドショーを止めるとき

[❙❙]をタッチする。

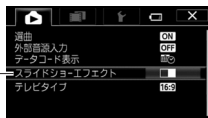
写真

POINT 効果をつけて再生する(スライドショーエフェクト)

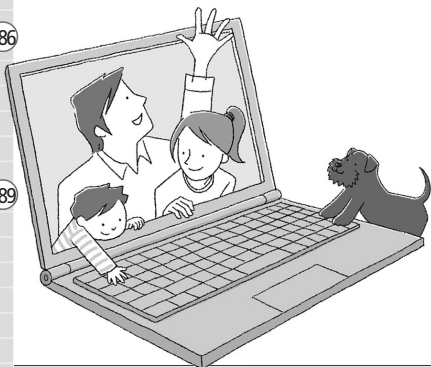
スライドショーに効果をつけて見ることができます。

❶ [MENU]をタッチする。

❷ 上下にドラッグして、「スライドショーエフェクト」をタッチする。

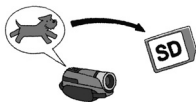
❸ 「クロスフェード」または「□■スライド」をタッチ→[×]をタッチする。

- 付属の音楽と一緒に再生するときは、静止画と音楽を同じメモリーに保存してください。詳しくはTransfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）をご覧ください。
- プレーヤーなどの音楽と一緒に再生する場合、スライドショーは音楽が終わるまで繰り返し再生され、音楽が終わると終了します。

Chapter

# 5

# 保存/共有

# 残しかたいろいろ

ビデオ
写真

## カードにコピーしたい



## パソコンに保存したい



## DVDレコーダーなどにダビングしたい



## 動画共有サイトでお披露目したい

## ディスクを作りたい

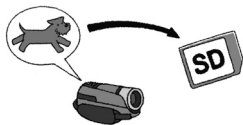
### ハイビジョン画質のディスクを作る

- パソコンを使って　184

### 標準画質のDVDを作る

- パソコンを使って　185

# ビデオ／写真をカードにコピーする ビデオ 写真

コピー

撮影した動画や静止画を内蔵メモリーからカード*、またはカードからカードへコピーできます。コピーは、選んだシーン／静止画やすべてのシーン／静止画を選んでまとめて行います。動画の場合は、特定の日に撮影したシーンをすべてコピーすることもできます。

* HFR21 の場合。

撮る 見る

## ■ 動画をコピーする

「日付」インデックスからシーンをコピーすることができます。コピーしたシーンは、カードBの「未分類」に保存されます。

1 カードスロット B にカードを入れる

2 コピー元となる内蔵メモリー*またはカードAの「日付」インデックスを出す（□60）

* HFR21 の場合。

保存

編集

## 3 タッチする

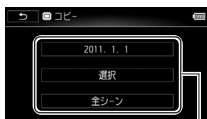
[内蔵メモリー]→[B]

[A]→[B]

## 4 シーンを選ぶ

❶ HFR21 「コピー[内蔵メモリー→B]」または「コピー[A→B]」をタッチする。

HFR200 「コピー[A→B]」をタッチする。

❷ 「撮影年月日」、「選択」、「全シーン」のいずれかをタッチする。

### 「撮影年月日」または「全シーン」を選んだとき

- コピーの確認画面が出る。

### 「選択」を選んだとき

左右にドラッグして目的のシーンにタッチする。

- 選んだシーンに☑が付く。
- 複数のシーンをコピーしたいときは、続けて他のシーンをタッチする。

### 選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

## 5 カードにコピーする

**「撮影年月日」または「全シーン」を選んだとき**

❶「はい」をタッチする。

**「選択」を選んだとき**

❶ (実行) →「はい」をタッチする。

**中止するとき**

「中止」をタッチする。

❷「OK」をタッチする。

### ■ 動画を絞り込んでコピーする

ギャラリー画面から、「作品」内のシーンをレーティングで絞り込んでコピーすることができます。

## 1 カードスロット B にカードを入れる

## 2 コピー元となる内蔵メモリー*またはカードの「ギャラリー」画面に切り換える（□60）

* HF R21 の場合。

保存

## 3 シーンを選ぶ

❶ 左右にドラッグして「作品」を選ぶ。

❷「作品詳細」をタッチする。

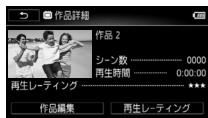


- 選んだシーンの詳細画面が出る。

## 4 コピーするシーンを選ぶ

❶「再生レーティング」をタッチする。

❷ 目的のレートの「★」を選ぶ→ [戻る] をタッチする。

- [作品詳細]の画面に戻る。

[内蔵メモリー]➡[B]
[A]➡[B]

## 5 カードにコピーする

❶「作品編集」をタッチする。

❷ HF R21「コピー[内蔵メモリー➡B]」または「コピー[A➡B]」をタッチする。
HF R200「コピー[A➡B]」をタッチする。

❸「はい」をタッチする。

**中止するとき**

「中止」をタッチする。

❹「OK」をタッチする。

## ■ 静止画をコピーする

Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（□177）を確認してください。

### 再生中の静止画をコピーする

## 1 カードスロットBにカードを入れる

## 2 静止画再生中 コピー元となる静止画を選ぶ

- 内蔵メモリーまたはカードAに保存されている静止画を選ぶ。

## 3 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

編集
内蔵メモリー ➔ B
A ➔ B
実行
×

## 4 コピーを選ぶ

❶ 編集 をタッチする。

❷ HF R21 「コピー［内蔵メモリー➔B］」または「コピー［A➔B］」をタッチする。
HF R200 「コピー

［A➔B］」をタッチする。

- 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。

❸ 「実行」→「はい」→ × をタッチする。

保存

静止画を選んでまとめてコピーする

1 カードスロット🅱にカードを入れる

(再生ボタン)

2 コピー元となる内蔵メモリー*またはカードAの静止画インデックスを出す(□55)

* HF R21 の場合。

(編集)

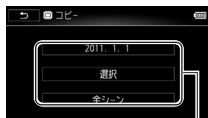
3 タッチする

内蔵メモリー → B

A → B

4 静止画を選ぶ

❶ HF R21 「コピー[内蔵メモリー→B]」または「コピー[A→B]」をタッチする。
HF R200 「コピー[A→B]」をタッチする。

❷ 「選択」、「すべての静止画」のいずれかをタッチする。

「選択」を選んだとき

左右にドラッグして目的の静止画にタッチする。

- 選んだ静止画に☑が付く。
- 複数の静止画をコピーしたいときは、続けて他の静止画をタッチする。

「すべての静止画」を選んだとき

- コピーの確認画面が出る。

(実行)

## 5 カードにコピーする

「選択」を選んだとき

❶ (実行)→「はい」をタッチする。

画面例：内蔵メモリーの場合

「すべての静止画」を選んだとき

❶「はい」をタッチする。

中止するとき「中止」をタッチする。

❷「OK」をタッチする。

保存

## POINT ダブルカードスロットを使ってコピーするときは

本機は、動画や静止画を二つのカードスロットを使って、以下のようにコピーできます。

■内蔵メモリーからカードへコピーするとき*

■カードからカードへコピーするとき

内蔵メモリー*またはカードBからカードAへのコピーや、カードAまたはカードBから内蔵メモリーへのコピーはできません。

* HF R21 の場合。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - AUTO/WEBボタン（ HF R21 ）またはAUTOボタン（ HF R200 ）を押さない。
  - ボタンを押さない。
- Eye-Fiカードをカードスロット B に入れ、コピー先に設定して静止画をコピーすると、自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（200）。

MEMO

### コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- 付属のVideoBrowserで編集して本機に書き戻したシーンのとき。
- カードスロット B にカードが入っていないとき
- カードの空き容量が足りない場合、動画のときはコピーできません。また、静止画のときはコピーが中断されます。

# パソコンに保存する

撮影した映像は内蔵メモリーやカードに記録されます。万一に備えてパソコンなどに保存（バックアップ）しましょう。

撮る 見る

## ■ ハイビジョン画質で動画を保存する

付属のTransfer UtilityまたはVideoBrowserを使って、本機の内蔵メモリーやカード*1に記録された動画をパソコン*2に保存することができます。

*1 SDXCメモリーカードをご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」（📖31）をあらかじめご確認ください。

*2 Windowsのみ。動作環境など詳細はソフトウェアの説明書（PDF）をご覧ください。

付属のソフトウェア（Transfer UtilityまたはVideoBrowser）をインストールしていないときは、あらかじめソフトウェアのインストールが必要です。

**インストールについて**

→ Transfer Utility/VideoBrowserインストールガイド

**詳細について**

→ Transfer Utility/VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

### パソコンに保存する

1 本機 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

## 2 本機 「日付」インデックスまたは「ギャラリー」画面に切り換える

## 3 本機とパソコンをつなぐ

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「すべて(パソコン)」をタッチする

- パソコンの画面にTransfer UtilityまたはVideoBrowserの起動画面が出る。

## 4 パソコン Transfer UtilityまたはVideoBrowserを操作してパソコンに保存する

画面の指示に従って操作する。

参考 ▶▶ Transfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書(PDF)

## ■ 静止画を保存する

付属の静止画用ソフトウェア「フォトアプリケーション」を使って、撮影した静止画をパソコンに保存することができます。詳しくは、フォトアプリケーション Ver.35 / 音楽データ/画像ミックスデータディスクに入っている「フォトアプリケーション使用説明書」をご覧ください。

### 準備する

はじめて静止画をパソコンに保存するときは、ソフトウェアのインストールが必要です。

1 パソコン フォトアプリケーションをインストールする

参考 ▶▶ フォトアプリケーション使用説明書の「フォトアプリケーションをインストールする」

2 本機 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

3 本機 見るモードにする

4 本機 取り込む静止画の画面に切り換える

- 内蔵メモリー、カードAまたはカードBの静止画インデックスに切り換える（□60）。

## 5 本機とパソコンをつなぐ

参考 ▶▶ フォトアプリケーション使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」

**Windowsのとき**

パソコンを操作してCameraWindowを起動する。

参考 ▶▶ フォトアプリケーション使用説明書の「CameraWindowを起動する」

**Macintoshのとき**

CameraWindowが自動で表示される。

### パソコンに取り込む

## 1 パソコンで操作して静止画を保存する

参考 ▶▶ フォトアプリケーション使用説明書の「パソコンに静止画を取り込む」

- パソコンに接続しているときは次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - カードを抜き差ししない。
- 本機に接続したパソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作しないでください。記録したデータが破損する恐れがあります。映像データをパソコンに保存したり、本機に書き戻したりするときは、付属のTransfer UtilityまたはVideoBrowserを使って行ってください。
- 本機のACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データが破損することがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
  - AUTOボタン/WEBボタン（HFR21）またはAUTOボタン（HFR200）を操作しない。
  - 動画/再生切換ボタンを操作しない。
- パソコンに保存した映像を本機に書き戻しているときは、次のことを必ず守ってください。本機に再生できないシーンが残ることがあります。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。

### 静止画を保存するときは

- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- Windows 7、Windows Vista、Windows XPおよびMac OS Xをお使いの場合、付属のフォトアプリケーションをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画をパソコンに取り込めます。
- 動画見るモードでパソコンに接続すると、自動的にサムネイルの作成が始まります。その場合は以下の操作を行ってください。

  ① 本 機 「サムネイル作成中」の画面が表示されたら、スキップをタッチする

  ② パソコン 安全な取り外しを行い、USBケーブルを抜く。

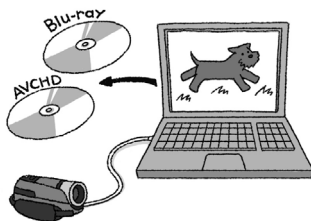
  ③ 本 機 静止画見るモードに切り換え、パソコンと接続する。

### 動画を保存するときは

- 動画は「作品」ごとに複数選んでパソコンに保存することもできます。「作品」ごとに保存すると「作品」内のシーンがすべて結合されます。

# ハイビジョン画質のディスクを作る

付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使って、ハイビジョンのディスク*1を作成できます*2。市販のブルーレイディスクレコーダーなどでハイビジョンのディスクを作るときは、はじめに撮影した映像をレコーダーにダビングします（□186）。ディスクの作り方についてはお使いのレコーダーの説明書をご覧ください。

*1 ブルーレイやDVD（AVCHD規格）のディスク。
*2 パソコンに、書き込み可能なブルーレイドライブまたはDVDドライブが必要です。

撮る 見る

## ■ パソコンを使って作る

付属のソフトウェアVideoBrowserをインストールしていないときは、はじめにVideoBrowserのインストールが必要です。ハイビジョン画質のディスクを作るときは、はじめにディスク作成に使う動画をパソコンに保存（□178）します。

**インストールについて**

→ Transfer Utility/VideoBrowserインストールガイド

**詳細について**

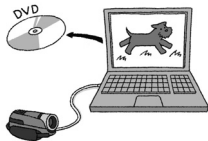
→ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

# 標準画質のDVDを作る

付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使って、標準画質のDVD（DVD-Video規格）を作成できます*。市販のDVDレコーダーなどで標準画質のDVDを作るときは、はじめに撮影した映像をレコーダーにダビングします（□186）。ディスクの作り方についてはお使いのレコーダーの説明書をご覧ください。作ったDVDはDVDプレーヤーなどで再生できます。

* パソコンに、書き込み可能なDVDドライブが必要です。

## ■ パソコンを使ってDVDを作る

付属のソフトウェアVideoBrowserをインストールしていないときは、はじめにVideoBrowserのインストールが必要です。DVDを作るときは、はじめにDVDに使う動画をパソコンに保存（□178）します。

**インストールについて**

→ Transfer Utility/VideoBrowserインストールガイド

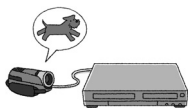
**詳細について**

→ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

# DVDレコーダーなどにダビングする

撮影した映像を他のブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどにダビングすることができます。

撮る 見る

## ■ ハイビジョン画質のままダビングする

USBケーブル(付属)でAVCHD規格対応のレコーダーなどと接続すれば、ハイビジョン画質のままダビングできます。また、レコーダーがお使いのカードに対応している場合は、カードからダビング可能です。なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書やホームページなどでご確認ください。

### 1 本機 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

### 2 本機 「日付」インデックスまたは「ギャラリー」画面に切り換える

### 3 本機とレコーダーをつなぐ

付属のUSBケーブル

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「カードA」、「カードB」、「内蔵メモリー」のいずれかをタッチする。

- ダビングする動画が記録されているメモリーを選ぶ。

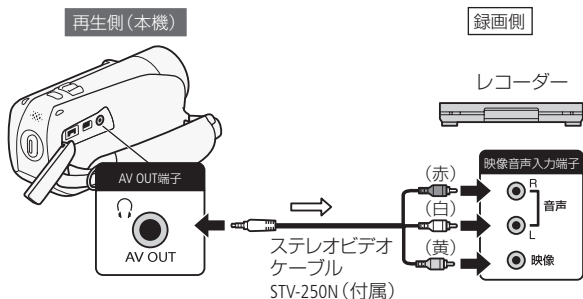
保存

4 レコーダー ダビングする

参考 ▸お使いのレコーダーの説明書

## ■ 標準画質に変換してダビングする

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのDVDレコーダーなどにダビングできます。画質は標準画質に変換されます。

### 接続する

## ダビングする

### 1 本機 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

### 2 本機 「日付」インデックスまたは「ギャラリー」画面に切り換える

### 3 本機 メニューの設定を確認する

MENU

- メニューの「AV/ヘッドホン」が「AV」になっていることを確認する（288）。

### 4 レコーダー 録画一時停止状態にする

### 5 本機 シーンまたは「作品」をタッチして再生する

- 画面に表示される日時などを入れて録画するには、DISP.ボタンを押して好みの表示に切り換える（114）。

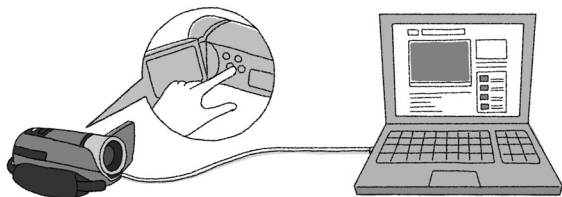
### 6 レコーダー 録画を始める場面で、録画操作をする

### 7 レコーダー 録画を終える

### 8 本機 再生を終える

画面上をタッチ→［■］をタッチする。

# 動画共有サイトにアップロードする

撮影した動画を標準画質に変換すれば、付属の動画用ソフトウェアTransfer UtilityまたはVideoBrowserを使って、簡単に動画共有サイト（YouTube）にアップロードできます。Eye-Fiカードを使ってアップロードすることもできます。変換は、特定の日のシーン、選んだシーン、すべてのシーンをまとめて行うことや、作品内のシーンを絞り込んで行うことができます。また、変換前や変換中にデコレーション（📖141）をつけると、アップロードする動画を飾り付けることができます。

## 準備する

パソコンからアップロードするときは、付属のソフトウェアのインストールが必要です。
HFR21 をお使いの場合は、Transfer UtilityまたはVideoBrowser、HFR200 をお使いの場合は、VideoBrowserをインストールしてください。
Transfer Utilityでは、本機*で変換した動画のアップロードをすることができます。VideoBrowserでは、パソコンに取り込んだ動画の変換およびアップロードをすることができます**。

* HFR21 の場合は、AUTO/WEBボタンまたはメニューから変換することができます。
** HFR200 の場合は、VideoBrowserで変換とアップロードができます。

### インストールについて

→ Transfer Utility/VideoBrowserインストールガイド

### 詳細について

→ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

## HF R21 動画をWeb用に変換(ダウンコンバート)する

はじめに、アップロードする動画をSD動画*(MPEG2形式)に変換します。変換は内蔵メモリーからカードB、またはカードAからカードBへコピーしながら行います。

* 変換した標準画質の動画を「SD動画」と呼びます。

■内蔵メモリーからカードへコピーしながら変換するとき

■カードからカードへコピーしながら変換するとき

### ■ HF R21 AUTO/WEBボタンを使って変換(ダウンコンバート)する

**1** カードスロット B にカードを入れる

**2** 記録メモリーを選び、「日付」インデックスに切り換える(□60)

**3** 変換するシーンを選ぶ

同じ日付の全シーンを変換するとき

❶ 右にドラッグして、変換したいシーンの日付を表示させる。

❷ AUTO/WEBボタンを押す。

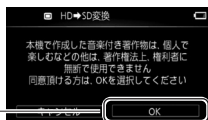
- [HD→SD変換]の画面が出る。

保存

### 1シーンごとに変換するとき

1. 変換したいシーンをタッチして再生する。
2. 再生中に画面をタッチして操作パネルで一時停止にする。
3. AUTO/WEBボタンを押す。

### 著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は、「OK」をタッチする。

変換に必要な容量

記録時間

### 長いシーンを自動分割するとき

1. →「自動分割」をタッチする。
2. 「入」→→をタッチする。

### 画質を設定するとき

1. →「ビットレート（画質）」をタッチする。
2. 「3 Mbps」または「9 Mbps」→→をタッチする。

- 3Mbpsは9Mbpsよりデータ容量が小さくなるため、アップロードにかかる時間が短くなる場合がある。

## 4 変換する

❶「次へ」をタッチする。

**デコレーションするとき**

① (デコレーションアイコン) をタッチする。

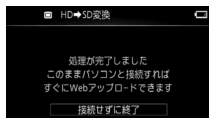
② デコレーションする。

③ [×] をタッチする。

❷「START」をタッチする。

- 変換が始まり、シーンが再生される。

**中止するとき**「STOP」をタッチする。

- 変換が終わると右の画面が出る。

保存

### HF R21 編集メニューを使って変換（ダウンコンバート）する

## 1 190ページの手順2までを行う

編集

## 2 変換するシーンを選ぶ

❶ 編集 をタッチ→ HF R21 「HD→SD変換[内蔵メモリー→B]」または「HD→SD変換[A→B]」、HF R200 「HD→SD変換[A→B]」をタッチする。

HD→SD変換
絞り込み
23 0:02:44 ▶ B 1 193 MB
MPEG2形式 / 9 Mbps /
変換しますか?
いいえ はい

- シーンの選択画面が出る。

❷ 「撮影年月日」、「選択」、「全シーン」のいずれかを選ぶ。

「撮影年月日」または「全シーン」を選んだとき

- [HD→SD変換]の画面が出る。

著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は、「OK」をタッチする。

「選択」を選んだとき

① 左右にドラッグして目的のシーンにタッチする。

- 選んだシーンに☑が付く。
- 複数のシーンを変換したいときは、続けて他のシーンをタッチする。

② 実行 をタッチする。

## 3 シーンを変換する

192ページの操作4を行う。

### HF R21 「作品」内のシーンを絞り込んでWeb用に変換(ダウンコンバート)する

「ギャラリー」画面から、「作品」内のシーンをレーティングで絞り込んでSD動画(MPEG2形式)に変換します。

## 1 カードスロット B にカードを入れる

## 2 「ギャラリー」画面に切り換える(□60)

左右にドラッグして「作品」を選ぶ。

## 3 シーンを絞り込む

❶ 「作品詳細」→「再生レーティング」タッチする。

❷ 目的のレートの「★」を選ぶ→(戻る)をタッチする。

❸ 「作品編集」をタッチする。

❹ HF R21 「HD→SD変換[内蔵メモリー→B]」または「HD→SD変換[A→B]」、HF R200 「HD→SD変換[A→B]」をタッチする。

- [HD→SD変換]の画面が出る。

## 4 シーンを変換する

192ページの操作4を行う。

保存

- 変換には、撮影時間とほぼ同じ時間がかかります。なお、パソコンより短時間で変換できることが多いため、本機で変換することをおすすめします。
- 178ページの操作4で「接続せずに終了」をタッチした場合、アップロードするときは「日付」インデックスに切り換えてからパソコンに接続してください。詳しくはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）をご覧ください。
- 「ギャラリー」画面から変換する場合、音楽（BGM）を選択していると、元の音声と音楽（BGM）がミックスされて変換します。音声と音楽（BGM）のミックスのバランスは、メニューの「BGM選択」（□256）で変更できます。

「作品」をSD動画に変換する場合

- ■ 「作品」内シーンが1つのシーンとして結合される。
- ■ 変換後のサイズが大きい場合、10分ごとに分割されて別々のシーンになる。
- ■ 変換できる記録時間は、2時間30分まで。

- 再生一時停止状態で変換すると、一時停止位置から最大10分のシーンになります。

変換したSD動画を再生するには

インデックス選択から「SD SD動画」のインデックス画面に切り換え（□60）、シーンをタッチする。

HF R21 シーンまたは「作品」の途中からWeb用に変換（ダウンコンバート）する

1 カードスロット B にカードを入れる

2 変換するシーンまたは「作品」を再生する

シーンまたは「作品」をタッチする。

- 再生が始まる。

3 変換をはじめる位置で再生一時停止にする

画面をタッチ→ ❚❚ をタッチする。

4 押す

著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は、「OK」をタッチする。

5 シーンを変換する

192ページの操作4を行う。

- 再生一時停止状態で変換すると、一時停止位置から最長で10分間のシーンになります。

## パソコンからアップロードする

### 1 本機とパソコンをつなぐ

- パソコンの画面にTransfer UtilityまたはVideoBrowserの起動画面が出る。

### 2 パソコン アップロードする

HF R21

Transfer Utilityをインストールしている場合

Transfer Utilityを操作してアップロードする

VideoBrowserをインストールしている場合

動画をパソコンに取り込んでから、VideoBrowserを操作してアップロードする

HF R200

動画をパソコンに取り込んでから、VideoBrowserを操作してアップロードする

- 以降の操作については、VideoBrowserの取扱説明書をご覧ください。

参考 ▶▶ Transfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）

- パソコンと接続しているときは､カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。

## ■ Eye-Fiカードを使ってアップロードする HF R21

動画のアップロードに対応したEye-Fiカード（市販）を使うと、内蔵メモリーまたはカードAに撮影した動画をSD動画（MPEG2形式）に変換するだけで、自動的に動画共有サイトにアップロードできます。

撮る **見る**

### 準備する

あらかじめ、カードに付属しているソフトウェアをパソコンにインストールして、アップロードに必要な設定を行う必要があります。詳しくは、お使いのEye-Fiカードの説明書をご覧ください。

### HF R21 動画をアップロード用に変換（ダウンコンバート）する

**1 Eye-FiカードをカードスロットBに入れる**

- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（□200）を確認してください。

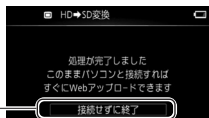
保存

## 2 シーンを選んで、アップロード用に変換する

❶ 190〜196ページのいずれかの変換操作を行う。

- 変換が終了すると、自動的にアップロードが始まる。

❷「接続せずに終了」をタッチする。

- Eye-Fiカードの通信状態は、次のマークで確認できる。

| | |
|---|---|
| （灰色） | 未接続。 |
| （白色点滅） | 接続中。 |
| （白色） | データの送信待機中。 |
| （アニメーション） | データを送信中。 |
| OFF | メニューの「Eye-Fi通信」を「切」に設定している。 |
| | 中断中。 |
| | カード情報取得エラー（210）。 |

### POINT Eye-Fi通信を無効にする

次の操作を行うと、Eye-Fi通信を無効にできます。

❶ MENU（メニュー）→ をタッチする。

❷「Eye-Fi通信」→「切」をタッチする。

❸ × をタッチする。

- 弊社は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。
- 航空機の機内など、無線の使用が禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しないでください。カードはあらかじめ本機から抜いてください。

● データの容量が大きいときや通信状態によっては、アップロードに時間がかかることがあります。また、通信状態が悪くなると、アップロードを中断することがあります。

### 電源について

- Eye-Fiカードによる通信は、バッテリーの消耗を早めます。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずアップロードできます。
- アップロード中は、「パワーセーブ」メニューの「オートパワーオフ」は働きません。

### Eye-Fiカードの通信が行えない場合

次の場合、Eye-Fiカードによる通信は行えません。

- 撮るモードのとき。
- ワイヤレスマイクロホンWM-V1(別売)を取り付けているとき。

通信中に上記の状態になったときは、通信が自動的に停止されます。

- Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にしていると、メニューの「Eye-Fi通信」で通信機能をON/OFFすることはできません。また、通信状態を表すマークは になります。通信機能を使用するときは、誤消去防止ツマミのLOCKを解除してください。
- Eye-Fiカード使用中は、定期的にACCESSランプが点灯することがあります。
- カードスロット A ではEye-Fiカードを使ってアップロードすることはできません。また、「Eye-Fi通信」も表示されません。カードスロット B にEye-Fiカードを入れてください。

# ふろく

Additional Information

# 故障かな？

修理に出す前にこの「故障かな？」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（□291）またはご購入になった販売店にご相談ください。

## まずココを確認しよう！

**電源**

- □ バッテリーは充電されていますか？（□20）
- □ 本機はコンパクトパワーアダプターで正しく接続されていますか？（□20）

**撮影するとき**

- □ 電源を入れて撮るモードにしていますか？見るモードになっているときは🎥⇆▶ボタンを押してください。
- □ カードに記録する場合は、本機にカードが入っていますか？（□33）

**再生するとき**

- □ 電源を入れて見るモードにしていますか？撮るモードになっているときは🎥⇆▶ボタンを押してください。
- □ カードから再生する場合は、本機にカードが入っていますか？（□33）

## ■ 電源

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| 電源が入らない。<br>途中で電源が切れる。 | ●バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。<br>●バッテリーを正しく取り付け直す。 | 20 |
| バッテリーが充電できない。 | ●電源を切ってから充電する。<br>●バッテリーの温度が使用温度（約0°C～40°C）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。<br>●周囲の温度が約0°C～40°Cのときに充電する。<br>●バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。<br>●本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、充電できない。<br>●キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、充電しようとした。<br>●キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。 | 20 |
| コンパクトパワーアダプターから音がする。 | ●コンパクトパワーアダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。 | — |
| 常温でバッテリーの消耗が極端に早い。 | ●バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。 | — |

## ■ 撮影中

| こんなときは | どうするの? | 📖 |
|---|---|---|
| START/STOPボタンを押しても録画しない。 | ● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。<br>● メモリーに空き容量がない。または3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。 | —<br>39<br>64<br>155 |
| START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。 | ● START/STOPボタンを押してから、録画の開始/終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。 | — |
| ピントが合わない。 | ● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。<br>● レンズが汚れているのでお手入れする。 | 95<br>241 |
| 被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。 | ● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。 | — |
| 動画の「●撮影/●❚❚撮影一時停止/▶再生」の切り換えに時間がかかる。 | ● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。 | 39<br>178 |
| 動画や静止画を正しく記録できない。 | ● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。 | 39<br>178 |

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
| --- | --- | --- |
| 長時間使うと熱くなる。 | ● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。 | 291 |

## ■ 再生中

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
| --- | --- | --- |
| 「作品」が作成できない。 | ●「作品」は、1つのメモリー内に98までしか作成できない。ギャラリー画面で不要な「作品」を消すか、動画の記録先を別のメモリーに切り換える。 | 123<br>257 |
| 「作品」にシーンが追加できない。 | ● MXP/FXPモードとそれ以外のモードのシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。<br>● 他機で記録・編集したシーンは、「作品」に追加できないことがある。<br>●「作品」には999シーンまでしか追加できない場合がある。<br>● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。 | —<br>39<br>64<br>123<br>155 |

| こんなときは | どうするの? | 📖 |
|---|---|---|
| 「作品」内でシーンの並べ換えができない。 | ● メモリーの空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。 | 39<br>64<br>123<br>155 |
| シーンの消去ができない。 | ● 他機で記録・編集をしたシーンは消去できないことがある。 | — |
| シーンの消去に時間がかかる。 | ● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。 | 39<br>178 |
| ビデオスナップを作成できない。 | ● 他機で記録したシーンからは作成できない。<br>● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。 | 39<br>64<br>155 |
| 音楽と映像を組合せて再生した場合、正しく再生できない。 | ● 記録や消去を繰り返したメモリーに音楽を転送すると、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。音楽を転送し、動画や静止画を書き戻す。<br>● PIXELA社製ソフトを使って音楽を転送中に、USBケーブルが抜けると、本機で再生できない音楽ファイルになることがある。その曲を消去してから、転送し直す。<br>● カードの読み取り速度が遅い。推奨のカードを使う。 | 39<br>178<br>130<br>30 |
| プレーヤーの音楽と連動して再生できない。 | ● オーディオプレーヤーの音量が小さいと、連動しないことがある。プレーヤーの音量を上げる。 | 133 |

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| シーンを分割できない。 | ● 他機で記録・編集したシーンは分割できない。<br>● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。 | —<br>39<br>64<br>155 |
| シーンまたは静止画をコピーできない。 | ● 他機で記録したシーンや静止画はコピーできないことがある。 | — |
| シーンまたは静止画を選択できない。 | ● シーンや静止画は、100個を超えて選択できない。<br>● 選択する個数を減らすか、「全選択」を使う。 | — |

## ■ 表示やランプ

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| 画面で 🔋 が赤く点灯する。 | ● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する | 20 |
| 画面に 🔋? が出る。 | ● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。 | — |
| Ⓐまたは Ⓑ が赤く点灯する。 | ● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。<br>● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画または静止画を消す。 | 33<br>39<br>33<br>64<br>155 |

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| 撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。 | ● 撮影したシーンをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。 | — |
| 充電中にCHGランプが速く点滅する。 | ● （0.5秒に1回の点滅）コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。 | 291 |
| 充電中にCHGランプがゆっくりと点滅する。 | ● （2秒ごとに1回の点滅）バッテリーの温度が使用温度（約0℃～40℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。<br>● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。<br>● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 | 21 |
| 画面に が出る。 | ● Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミが「LOCK」側になっている。LOCKを解除する。<br>● Eye-Fiカードから情報が取得できなかった。本機の電源を入れ直す。頻繁に発生する場合は、カードの不具合の可能性がある。カードメーカーに問い合わせる。 | — |

## ■ 画面や音

| こんなときは | どうするの? | 📖 |
|---|---|---|
| 液晶画面が暗い。 | ● バックライトが低輝度設定になっている。DISP.ボタンを約2秒以上押すと解除できる。 | 27 |
| 画面がついたり消えたりを繰り返す。 | ● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。<br>● バッテリーを正しく取り付け直す。 | 20 |
| 画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。 | ● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しない場合は、電源を取り外し、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。すべての設定が解除される。 | 16<br>21 |
| 画面にノイズが出る。 | ● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。 | 234 |
| 画面に横帯が出る。 | ● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。フリッカー低減設定で50Hzあるいは60Hzを選択すると軽減する。故障ではない。 | 252 |
| 音がひずんだり、実際より小さく記録される。 | ● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にするか、マイクレベルを手動で調整する。 | 104<br>252 |

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| 映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。 | ● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。<br>● ステレオビデオケーブルをはずす。<br>● メニューの「AV/ヘッドホン」を「AV」にする。 | 62<br>164<br>—<br>261 |

## ■ アクセサリー

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| カードが入らない。 | ● 正しい向きでカードを入れる。 | 33 |
| カードに記録できない。 | ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画や静止画を消す。<br>● はじめて使用するときは、カードを初期化する。<br>● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。<br>● 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。<br>● 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「静止画番号」を「オートリセット」にする。 | 33<br>64<br>155<br>39<br>34<br>30<br>258 |

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| Eye-Fiカードからアップロードできない。 | ● 撮影モード時は通信ができない。再生モードに切り換える。<br>● カードスロット🅐にカードを入れている。カードスロット🅑にカードを入れる。<br>● メニューの「Eye-Fi通信」が「切」になっている（画面に が出る）。「オート」にする。<br>● 電波状況が悪いときは、液晶画面を開くと改善することがある。<br>● 通信中に通信状況が悪くなるなどの要因から、通信が停止することがある（画面に が出る）。通信状況の良い場所に移動する。<br>● ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）使用時は通信できない（画面に が出る）。マイクの電源を切り、本機のMIC端子からマイクのケーブルを外す。<br>● カードメーカーに問い合わせる。 | 33<br>202<br>262<br>—<br>—<br>— |
| Eye-Fiカードの通信状態を示すマークが表示されない。 | ● カードスロット🅐にカードを入れている。カードスロット🅑にカードを入れる。 | 33<br>202 |
| ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）で記録した音声が途切れる。 | ● Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にして、撮影中に通信が発生すると、このようになることがある。Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミのLOCKを解除する。 | 202 |

## ■ 他機

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| テレビの放送画面にノイズが出る。 | ● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。 | — |
| 再生しても、テレビに映像が出ない。 | ● テレビの設定を、接続した端子に切り換える。<br>● D端子ケーブルをつないでいると、AV端子から映像が出力されない。そのため、ステレオビデオケーブルの黄色プラグをテレビにつないでも映像は表示されない。D端子ケーブルを抜く。 | — |
| テレビで音声が出ない。 | ● D端子ケーブル（別売）でテレビにつなぐときは、音声を出力するためにステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。 | 69 |
| HDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。 | ● HDMIケーブル（付属）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 | — |
| HDMI機器制御機能が動作しない。 | ● 接続ケーブルを抜き差しし、本機とテレビの電源を入れ直す。<br>● 本機の「HDMI機器制御」が「切」になっているので、「入」にする。<br>● テレビのHDMI機器制御機能が無効になっているので、有効にする。<br>● テレビによってHDMI機器制御機能でできることが異なる。テレビの説明書を確認する。 | —<br>264<br>—<br>— |

| こんなときは | どうするの？ | 📖 |
| --- | --- | --- |
| 正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。 | ● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。<br>● 静止画の消去中は、パソコンにつないでも認識されません。 | — |
| 静止画をパソコンに取り込めない。 | ● 内蔵メモリー（HF R21）またはカードに2500枚以上（Windows）/1000枚以上（Macintosh）の静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。<br>● カードリーダーなどを使って取り込む。内蔵メモリー（HF R21）の場合は、静止画をカードにコピーしてからパソコンに取り込む。 | —<br>174 |

# メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| 空き容量が不足しています | ● カードの不要な動画・静止画を消去するか、「ビットレート（画質）」を「3Mbps」に設定する。 | 64<br>155<br>191 |
| カードカバーがあいています | ● カードを入れたらカードカバーを閉じる。 | 33 |
| カードがありません | ● カードを本機に入れる。<br>● カチッと音がするまでカードを入れ直す。 | 33 |
| カードがいっぱいです | ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画や静止画を消す。 | 64<br>155 |
| カード<br>シーン数がいっぱいです | ● カードに3999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要な動画を消す。 | 64<br>123 |
| カードにアクセス中です<br>カードを取り出さないでください | ● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。 | — |
| カードにシーンがあるためリレー記録できません | ● カードの動画をバックアップしたあと、カードの動画をすべて消去する。 | 64<br>178 |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| カード<br>認識できない記録方式です | ● カードに記録されている動画のテレビ方式が異なるため再生できない。 | — |
| カードの誤消去防止ツマミを確認してください | ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため､カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。 | 34 |
| カードの修復が必要です<br>カードの誤消去防止ツマミを解除してください | ● カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。 | 34 |
| カードを確認してください | ● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。<br>● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。<br>● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。<br>●「カードを確認してください」が4秒後に消えて[A]または[B]が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。[A]または[B]が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。 | 33<br>—<br>30<br>39<br>178 |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| HF R21<br>内蔵メモリーに書き込みエラーがあります<br>カードAに書き込みエラーがあります<br>カードBに書き込みエラーがあります<br>データの修復を試みますか？ | ● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「修復する」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。 | — |
| 画像がありません | ● 静止画を撮影する。 | 44<br>158 |
| キャンバスが保存できません | ● キャンバスのデータを内蔵メモリー（HF R21）またはカードA（HF R200）に書き込めない。動画と静止画を保存して内蔵メモリーまたはカードAを初期化する。 | 37<br>178 |
| キャンバスが読み込めません | ● キャンバスのデータが壊れている。<br>● 他機で保存したキャンバスのデータは読み込めない。本機で保存したキャンバスのデータを使用する。 | — |
| 記録できません | ● ビデオスナップは、他機で記録したシーンから作れない。<br>● メモリーに異常があるため、記録できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。 | 291 |
| 記録できません<br>カードを確認してください | ● カードに異常があるため、記録できない。<br>● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。 | 33<br>39 |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
| --- | --- | --- |
| HF R21<br>記録できません<br>内蔵メモリーにアクセスできません | ● 内蔵メモリーに異常があるため、記録できない。<br>● 内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。 | 39<br>291 |
| このカードでは動画記録できないことがあります | ● SDスピードクラスに対応していないカードを入れた。SDスピードクラス4、6、10のカードを使用する。 | 30 |
| このカードでは録画モードXP+/SP/LPを推奨します | ● 録画モードをMXP/FXPにすると、動画が正しく記録できないことがある。 | — |
| このカードは動画記録できません | ● 64 MB以下のカードは動画の記録・再生ができない。推奨のカードを入れる。 | 30 |
| このカードは動画再生できません | | |
| このカードは動画記録できません<br>本機で初期化してお使いください | ● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。 | 39 |
| このカードは動画再生できません<br>本機で初期化してお使いください | | |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| コピーできません | ● カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。<br>● 記録可能なシーン数（3999シーン）を超えた。不要なシーンを消す。 | 64 |
| 再生できない画像です | ● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。 | — |
| 再生できません | ● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした動画を、内蔵メモリーに書き戻して再生することはできない（HFR21）。<br>● 他機で記録したカードがプロテクトされている場合は、ギャラリー情報を付与できないため「ギャラリー」画面では再生できない。「日付」インデックスで再生するか、プロテクトを解除してから、カードを入れ直す。<br>● メモリーに異常があるため、再生できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。 | —<br>33<br>34<br>56<br>291 |
| 再生できません<br>カードを確認してください | ● カードに異常があるため、再生できない。<br>● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。 | 33<br>39 |
| HFR21<br>再生できません<br>内蔵メモリーにアクセスできません | ● 内蔵メモリーに異常があるため、再生できない。内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。 | 39<br>291 |

ふろく

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| 作品数がいっぱいです | ●作品は、1つのメモリー内に98作品までしか作成できない。「ギャラリー」画面で不要な作品を消すか、動画の記録先を別のメモリーに切り換える。 | 35<br>123<br>257 |
| サポートしていないギャラリー情報があります<br>録画、編集はできません<br>ギャラリー情報を消去しますか？ | ●選択中のカードに記録されている動画のギャラリー情報は、本機でサポートしていない形式のため、本機で録画・編集できない（再生のみ可能）。「はい」を選ぶとギャラリー情報を消去して録画できる。ギャラリー情報を消去すると、動画を記録したビデオカメラでギャラリーから再生できなくなる。 | — |
| シーンがありません | ●動画を撮影していなければ、撮影する。 | — |
| シーン数がいっぱいです | ●記録可能なシーン数（3999シーン）を超えた。不要なシーンを消す。<br>●「作品」内には999までしか追加できない。不要なシーンを消す。 | 64<br>123 |
| シーン番号を選択してください | ●動画管理情報が異なる同一日付が複数あった。日付変更線の付近で撮影したり、パソコンで編集したシーンを本機に書き戻したりすると、このようになることがある。いずれかを選択する。 | — |
| 時間が長すぎます | ●HD→SD変換を行うシーンの合計の記録時間が、2時間30分を超えている。変換するシーンを減らす。 | — |
| 消去ができないシーンがありました | ●他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。 | — |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| 処理中です<br>電源をはずさないでください | ●内蔵メモリーまたはカードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。 | — |
| 使用するにはAUTOモードを解除してください | ●こだわりオートモードでは使えないボタンを押した。使うためにはAUTO/WEBボタン（ HFR21 ）またはAUTOボタン（ HFR21 ）を押して、応用モードに切り換える。 | 16<br>42 |
| スタンバイに入れません | ●バッテリー残量が少なくなっているときは、スタンバイに入れない。バッテリーを充電する。 | 20 |
| 静止画像が多すぎます<br>USBケーブルをぬいてください | ●メモリーに記録されている静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、静止画をカードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用して静止画をパソコンに移動する。または、不要な静止画を消す(Windowsパソコン：2500枚未満に。Macintochパソコン：1000枚未満に)。その後、USBケーブルを接続し直す。<br>●パソコンの場合、OSの設定によってはパソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。 | 174<br><br>— |
| 設定したレーティングのシーンがありません | ●「作品」内にレーティングされたシーンがない。お気に入りのシーンを選んでレーティングをする。<br>●絞り込みの結果、再生するシーンがなくなった。絞り込みの条件（再生レーティング）を設定し直す。 | 115<br><br>119 |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| 追加できませんでした | ● MXPモード、FXPモードまたはそれ以外のシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。不要なシーンを消す。 | 64<br>123 |
| データを修復できませんでした | ● 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、記録メモリーを初期化する。 | 39<br>178 |
| 動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください | ● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。 | 178 |
| HF R21<br>内蔵メモリーがいっぱいです | ● 内蔵メモリーに空き容量がない。画面に「▣END」が出る。不要な動画を消すか、動画と静止画をバックアップして内蔵メモリーを初期化する。 | 39<br>64<br>178 |
| HF R21<br>内蔵メモリーが認識できません | ● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。 | 291 |
| HF R21<br>内蔵メモリーから動画再生できません<br>本機で初期化してお使いください | ● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。 | 39 |
| HF R21<br>内蔵メモリーにアクセスできません | ● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。 | 291 |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
|---|---|---|
| HF R21<br>内蔵メモリーに動画記録できません<br>本機で初期化してお使いください | ● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。 | 39 |
| 認識できない記録方式です | ● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。 | — |
| USB接続<br>電源をはずさないでください<br>パソコンで安全な取り外しをするまではUSBケーブルをぬかないでください | ● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。<br>● コンパクトパワーアダプターをつないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、データの転送や書き戻しができる。 | — |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
| --- | --- | --- |
| USB接続<br>電源をはずさないでください<br>書き込みできない接続方法です<br>書き込む場合はコンパクトパワーアダプターを接続してからUSBを接続しなおしてください<br>パソコンで安全な取り外しをするまではUSBケーブルをぬかないでください | ● コンパクトパワーアダプターをつながないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作や書き込みはできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。<br>● 本機のメモリー内にデータを書き込む場合は、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、コンパクトパワーアダプターを接続してから、USBケーブルを接続しなおす。 | — |
| バックライトが低輝度に設定されています | ● 明るくするときは、DISP.ボタンを2秒以上押す。 | 27 |
| バッテリーと通信できません<br>このバッテリーを使用しますか？ | ● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。<br>● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。 | 247<br>291 |
| バッテリーパックを取り替えてください | ● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 | 20 |
| バッファオーバーです<br>記録を中止しました | ● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDスピードクラス4、6、10のカードを使用する。 | 30 |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
| --- | --- | --- |
| ファイル名が作成できません | ● フォルダー番号や静止画番号が最大になった。「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画をすべて消す。 | 39<br>155<br>258 |
| 分割できません<br>分割できません<br>初期化が必要です | ● 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。動画と静止画をパソコンに保存して、記録メモリーを初期化する。シーンを本機に書き戻して、再度分割を行う。 | 39<br>178 |
| 変換できないシーンがありました | ● 変換元のシーンに他機で記録したシーンが含まれていたため、他機のシーンを除いて変換した。 | — |
| 変換できないシーンがあります | ● 変換元に、他機で記録した24p方式のシーンが含まれている。他機で記録したシーンを変換対象からはずす。 | — |
| 変換できません | ● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。<br>● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。<br>● 変換するシーンの総記録時間が短すぎる。合計0.5秒以上シーンを選ぶ。<br>● ファイル名が作成できなかった。メニューの「静止画番号」を「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画とSD動画をすべて消す。 | 33<br>30<br>—<br>39<br>155<br>258 |

| メッセージ | どうするの？ | 📖 |
| --- | --- | --- |
| 編集できません | ●「作品」間でシーンの移動ができなかった。「作品」内の不要なシーンを消す。 | 123 |
| 本機で記録したシーンではありません<br>コピーできません | ●他機で記録したシーンはコピーできない。 | — |
| 本機で記録したシーンではありません<br>分割できません | ●他機で記録したシーンは分割できない。 | — |
| 本機で記録したシーンではないためコピーできないシーンがあります | ●他機で記録したシーンが含まれた動画はコピーできない。 | — |
| 本機で初期化して<br>お使いください | ●メモリーに異常があるためアクセスできない。内蔵メモリーまたはカードを本機で初期化する。 | 39 |
| 無線機能を使用するにはカードスロットBをお使いください | ●Eye-Fiカードを本機のカードスロットBに入れる。 | 33 |

# 安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

## こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落としてこわした
- 内部に水や異物が入った

**バッテリーをはずして、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（□291）に問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

## ⚠警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

禁止

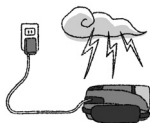
内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。➤ 感電

ぬらさない。➤ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

禁止

### 液漏れしたバッテリーは使用しない。

➤ 皮膚の傷害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

### 分解や改造をしない。

➤ 発熱 感電 火災 けが

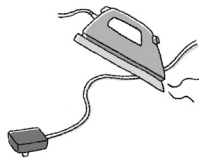
### 強い衝撃や振動を与えない。

➤ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

### 電源コードについて次のことを守る。

➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

バッテリーを熱しない、火中投入しない。

➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが

　ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

禁止

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC／ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。

➤ 火災 感電 けが

壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しない。

➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

➤ 火災 感電 やけど

　内部にほこりや水などが入る恐れあり。

ふろく

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

➤ 火災 やけど けが

発熱や破裂の恐れあり。

運転中に使用しない。➤ 交通事故

禁止

不安定な場所に置かない。➤ けが

落下、転倒の恐れあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。

➤ 感電 失明 けが

付属のスタイラスペンを誤飲する恐れあり。また、スタイラスペンの先端で目をつついたりすると、失明やけがなどの原因となる。このようなときは、直ちに医師と相談する。

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。

➤ 火災

内部に熱がこもる恐れあり。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。➤ 火災

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

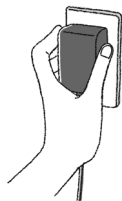
コンセントよりすぐに外せる場所で使用する。
➤ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

強制

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
➤ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。
➤ 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。
➤ けが 交通事故

## ⚠注意　傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。

強制

**コード類は、つまずかないように配置する。➤ けが**

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

**バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが**

**バッテリーを取り外すときは、落とさないように気をつける。➤ けが**

**飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。**

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

注意

**なるべくビデオカメラを固定して撮影する。**

撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。

# 取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

## ■ ビデオカメラ本体

### データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

### ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

### テレビの上などで使わない

プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。

### 太陽にレンズを向けない

太陽や強いライトなどにレンズを向けると内部の部品が溶けることがあります。

液晶画面を...

**つかんでもちあげない**

➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。

**無理に閉じない**

➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

**ボールペンなどのスタイラスペン(付属)以外のとがったものでタッチしない**

➔ タッチパネルが破損することがあります。

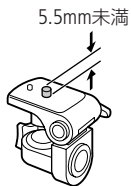
**強くタッチしない**

➔ タッチパネルの表示がムラになったり、液晶画面の接合部が破損することがあります。

**保護シートなどを貼らない**

➔ タッチパネルは圧力を感知するタイプのため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

■ バッテリー

### 端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子(充電器の端子)の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

### 正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、長期間放置したり、温度が低い場所で充電したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されない場合があります。なお、表示は目安としてご使用ください。

### インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム(📖247)に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-110(別売)に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

POINT

**使用時間を長くするコツ**

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

**長い間保管するとき**

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ カード

## データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

## 端子に触れない

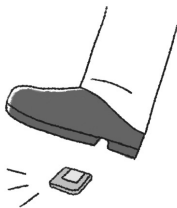
汚れが付着し、接触不良の原因となります。

## 磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

## 高温・多湿の場所に放置しない

## シールを貼らない

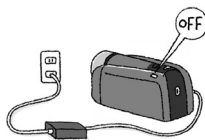
カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

## ていねいに扱う

落とす、濡らす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

## ■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

**充電のしかた（所要時間：24時間）**

①電源を切る
②本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ

## ■ その他のご注意

### 個人情報の流出に注意（譲渡・廃棄するときは）

内蔵メモリーやカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

**譲渡するときは**

一度内蔵メモリーの完全初期化（📖37）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、データの復元を困難にすることができます。

**廃棄するときは**

内蔵メモリーやカードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

## 結露について

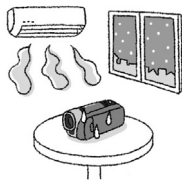
室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

### 結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

### 温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ　http://www.jbrc.com

○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。

○ 被覆をはがさないでください。

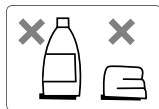
○ 分解しないでください。

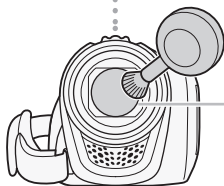
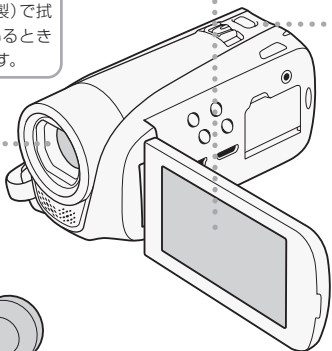
使ったあとはこまめに

# 日常のお手入れ

本体がよごれたときは

## 柔らかい布で拭こう

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。

### 液晶画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。

### レンズ

ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

**自動でピントが合わない？**

レンズが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

# 海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

## ■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100～240 V 50／60 Hz までの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。
**コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障する恐れがあります。**

### 国や地域によって変換プラグが異なります

| タイプ | A | B | BF | C | O |
|---|---|---|---|---|---|
| コンセントの形状 | | | | | |
| 変換プラグ | 不要です | | | | |

| ●北米 | |
|---|---|
| アメリカ合衆国 | A |
| カナダ | A |
| メキシコ | A |

| ●ヨーロッパ | |
|---|---|
| アイスランド | C |
| アイルランド | C |
| イギリス | B. BF |
| イタリア | C |
| オーストリア | C |
| オランダ | C |
| カナリア諸島 | C |
| ギリシャ | C |
| スイス | C |
| スウェーデン | C |
| スペイン | A. C |
| デンマーク | C |
| ドイツ | C |
| ノルウェー | C |
| ハンガリー | C |
| フィンランド | C |
| フランス | C |
| ベルギー | C |
| ポーランド | B. C |
| ポルトガル | B. C |
| ルーマニア | C |

| ●アジア | |
|---|---|
| インド | B. C. BF |
| インドネシア | C |
| シンガポール | B. BF |
| スリランカ | B. C. BF |
| タイ | A. BF. C |
| 大韓民国 | A. C |
| 中華人民共和国 | A. B. BF. C. O |
| ネパール | C |
| パキスタン | B. C |
| バングラデシュ | C |
| フィリピン | A. BF. O |
| ベトナム | A. C |
| 香港特別行政区 | B. BF |
| マカオ特別行政区 | B. C |
| マレーシア | B. BF. C |

| ●オセアニア | |
|---|---|
| オーストラリア | O |
| グアム | A |
| タヒチ | C |
| トンガ | O |
| ニュージーランド | O |
| フィジー | O |

| ●中南米 | | プエルトリコ | A | クウェート | B. C | ザンビア | B. BF |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アルゼンチン | BF. C. O | ブラジル | A. C | ヨルダン | B. BF | タンザニア | B. BF |
| コロンビア | A | ベネズエラ | A | | | 南アフリカ共和国 | B. C. BF |
| ジャマイカ | A | ペルー | A. C | ●アフリカ | | | |
| チリ | B. C | | | アルジェリア | A. B.BF. C | モザンビーク | C |
| ハイチ | A | ●中近東 | | エジプト | B. BF. C | モロッコ | C |
| パナマ | A | イスラエル | C | ギニア | C | | |
| バハマ | A | イラン | C | ケニア | B. C | | |

## ■ テレビで見る

本機は撮影した動画をNTSC方式で記録します。以下の国や地域ではNTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 大韓民国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

## ■ 旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像を現地時間で記録できます。

**1.** [MENU]（メニュー）→[設定]をタッチする。

**2.** 上下にドラッグして、「エリア/サマータイム」をオレンジ色のバーに合わせ、タッチする。

**3.** [飛行機]の項目をタッチする。

**4.** [▲]/[▼]をタッチして、旅行先を選ぶ。

旅行先がサマータイムのとき

[☀]をタッチする。

**5.** [戻る]をタッチする。

**6.** 上下にドラッグして、「日付/時刻」をタッチ→[×]をタッチする。

**7.** 「時計を合わせる」（📖29）の操作2を行う。

**8.** [×]をタッチする。

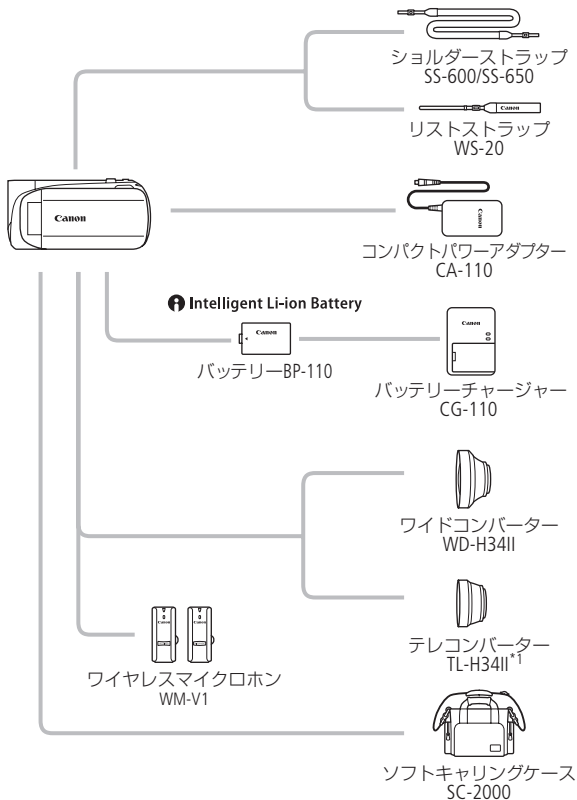
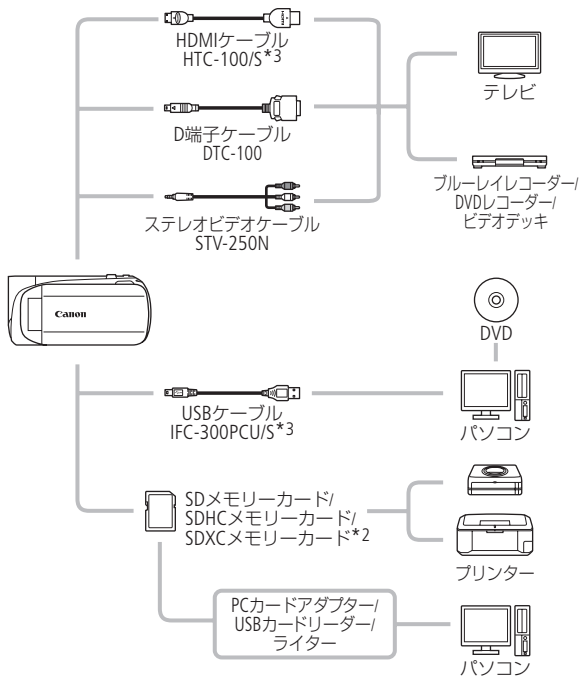
### 旅行から帰ってきたら

**1.** 上記の操作3で、[🏠]の項目をタッチする。

**2.** [×]をタッチする。

ふろく

# アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。

*1 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約0.9 mです。

*2 ご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」（□31）をあらかじめご確認ください。

*3 本機の付属品です。別売はしていません。

● **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

**インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて**

バッテリーパックBP-110は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャーCG-110(別売)でのみ使用/充電できます。

**このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。**

# FUNC.／編集メニューの紹介

撮影時の設定に使用するFUNC.メニューと、再生時に様々な編集操作を行うための編集メニューとがあります。なお、ご購入時のFUNC.メニューは、……… がついた内容に設定されています。各機能の詳細は、📖覧のページをご覧ください。

## 撮影時に使う「FUNC.メニュー」

| 機能 | 設定内容 | 📖 |
|---|---|---|
| MENU メニュー | ― | 74 |
| 撮影モード | P（プログラムAE） | 79 |
| | シネマモード | 82 |
| | ポートレート、スポーツ、夜景、スノー、ビーチ、夕焼け、ローライト、スポットライト、打上げ花火 | 79 |
| デコレーション* | ペン&スタンプ | 142 |
| | アニメーション | |
| | 日時 | |
| | 画像ミックス　ON/OFF | |
| | 画面静止 | |
| | ツールバー移動 | |

* 静止画の場合、設定内容は適用されません。

ふろく

| 機能 | 設定内容 | 📖 |
|---|---|---|
| WBホワイトバランス | AWBオート、☀太陽光、電球、セット | 101 |
| フォーカス* | MFマニュアル：ON、OFF<br>指定被写体に合わせる | 95 |
| 露出 | Mマニュアル：ON、OFF<br>指定被写体に合わせる | 93 |
| ZOOM<br>ズーム | ズーム操作 | 49 |
| | START/STOPボタンによる動画撮影/一時停止<br>テレマクロ：ON、OFF | 50<br>98 |
| マイクレベル* | Aオート、Mマニュアル<br>オートのとき：レベルメーター 入/切 | 104 |
| 手ブレ補正* | ダイナミック、スタンダード、切 | 83 |
| D.エフェクト | Dエフェクト切、E1シロクロ、<br>E2セピア、F1オートフェード1回、<br>F1オートフェード毎回、<br>F2ワイプ1回、F2ワイプ毎回<br>静止画のとき：シロクロ、セピア | 91 |
| プレREC* | ON入、OFF切 | 85 |
| 録画チェック* | 直前に撮影したシーンの最後の4秒間を再生 | 73 |

* 静止画の場合、設定内容は適用されません。

## ■ 再生時に使う「編集メニュー」

1シーンごと、選んだシーン、全シーン、特定の日に撮ったシーンなど、表示している画面によって、操作できる動画／静止画の個数が異なります。

**動画**

| 機能 | インデックス画面 | | | 📖 |
|---|---|---|---|---|
| | 日付 | SD動画 | ギャラリー | |
| コピー<br>[内蔵→B]*<br>[A→B] | ある日に撮ったシーン、日付ごとのシーン、選択シーン、全シーン | — | 1シーン、レーティングで絞り込んだシーン | 126 |
| HD→SD 変換 *<br>[内蔵→B]<br>[A→B] | ある日に撮ったシーン、日付ごとのシーン、選択シーン、全シーン | — | レーティングで絞り込んだシーン | 194 |
| 移動 | — | — | 1シーン | 126 |
| 消去 | ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン | 1シーン<br>全シーン | 1シーン、レーティングで絞り込んだシーン | 123<br>125 |
| 作品消去 | — | — | 「作品」とレーティングで絞り込んだシーン | 124 |
| 作品間移動 | — | — | 「作品」とレーティングで絞り込んだシーン | 128 |

* HF R21 の場合。

ふろく

## 動画

| 機能 | 再生一時停止中 | 📖 |
|---|---|---|
| 消去 | 1シーン | 64 |
| 分割 | 1シーン | 139 |
| レーティング | 1シーン | 115 |

## 静止画

| 機能 | ▶静止画 | | 📖 |
|---|---|---|---|
| | インデックス画面 | 再生中 | |
| コピー<br>[内蔵メモリー➡B]<br>[A➡B] | 選択した静止画、全静止画 | 1枚 | 174 |
| 消去 | 選択した静止画、全静止画 | 1枚 | 155 |

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

# メニューの紹介

撮影／再生のモードによって設定できる機能が異なります。設定できる機能は表中に●で示しています。ご購入時は、..........の内容に設定されています。各機能の詳細は、□欄のページかまたは欄外に説明があります。設定のしかたについては「メニューの設定を変える」（□74）をご覧ください。

## カメラ設定

| 機能 | 設定内容 | 動画 | □ |
|---|---|---|---|
| ズーム倍率 | 20x 光学 | ● | 49<br>253 |
| | アドバンスト<br>手ブレ補正がスタンダードのとき：28x<br>手ブレ補正がダイナミックのとき：24x | ● | |
| | 400x デジタル* | ● | |
| ズームスピード | VAR 可変速、≫ スピード3、≫ スピード2、> スピード1 | ● | 50 |
| フォーカスアシスト* | ON 入、OFF 切 | ● | 253 |
| フェイスキャッチ&追尾 | ON 入、OFF 切 | ● | 87 |
| 自動逆光補正* | ON 入、OFF 切 | ● | 94 |
| オートスローシャッター* | ON 入、OFF 切 | ● | 254 |
| フリッカー低減* | OFF 切、50Hz 50Hz、60Hz 60Hz | ● | 254 |
| フェーダー設定* | BLACK 黒、WHITE 白 | ● | 91 |
| マーカー表示 | OFF 切、水平（白）、水平（グレー）、グリッド（白）、グリッド（グレー） | ● | 254 |
| ウインドカット* | A オート、OFF 切 | ● | 254 |
| マイクアッテネーター* | A オート、ON 入 ATT | ● | 255 |

ふろく

| 機能 | 設定内容 | 🎥 | 📖 |
|---|---|---|---|
| MIC端子入力選択* | LINE 外部音源、MIC マイク | ● | 255 |
| 音声ミックス* | ON 入、OFF 切 | ● | 110 |

* 静止画の場合、設定内容は適用されません。

## ズーム倍率

3種類のズームがあります。

| | |
|---|---|
| 光学 | 20倍までズームすることができます。 |
| アドバンスト | 撮像素子の有効画素領域を効果的に使用し、より高倍率のズームが可能です。最高倍率は手ブレ補正の設定により異なり、「スタンダード」または「切」のときは28倍、「ダイナミック」のときは24倍です。 |
| デジタル | 光学ズームの領域を超えると自動的にデジタルズームに切り換わります。最高倍率は400倍で、デジタルズームの領域は水色で表示されます。デジタルズームの領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。 |

- アドバンストズームの場合、最高倍率のときの画質はハイビジョン相当で記録されます。

## フォーカスアシスト

マニュアルフォーカス（📖95）でピントを調整しやすくするために、画面の中央を拡大表示します。

- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると拡大表示は解除されます。

## オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。なお、「フレームレート」（78）が「PF24」または「24F」のときは1/12秒に、「PF30」のときは1/15秒になります。
- 撮影モードが「**P**（プログラムAE）」のときに設定でき、こだわりオートモードに切り換えても設定は変わりません。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に（手ブレ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

## フリッカー低減

- 蛍光灯の下で撮影するときに、ちらついて見えることがあります。その場合は「50Hz」または「60Hz」に設定することでちらつきを低減することができます。
- 撮影モードが「P（プログラムAE）」のときに設定できます。

## マーカー表示

画面に水平線や格子状の線（グリッド）を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- 水平線やグリッドは、撮影した動画/静止画には表示されません。

## ウィンドカット

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ボコボコ」というノイズ音を自動的に低減します。

- 風の音と一緒に低音の一部も低減されます。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは、「切」を選びます。

## マイクアッテネーター

録音した音声がひずむときに使います。

| | |
|---|---|
| オート | カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入/切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できます。 |
| 入：ATT | アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できます。「入」にすると画面に **ATT** が出ます。 |

## MIC入力端子選択

外部からカメラに入力する音声を切り換えます。

| | |
|---|---|
| 外部音源 | 外部の機器を使用するとき |
| マイク | 外部マイクを使用するとき |

## 再生設定

| 機能 | 設定内容 | 動画 | 写真 | 📖 |
|---|---|---|---|---|
| BGM選択 | OFF 切、ON 入(music_01〜xx) | ● | ● | 130 |
| 外部音源入力 | OFF 切、ON 入<br>入のとき:音源連動再生 入／切 | ● | ● | 132 |
| データコード表示 | OFF 切、日付、時刻、日付&時刻、カメラデータ | ● | ● | 114 |
| スライドショーエフェクト | OFF 切、クロスフェード、スライド | | ● | 164 |
| テレビタイプ* | 4:3 ノーマルテレビ、16:9 ワイドテレビ | ● | ● | – |

* HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。

### データコード表示

日付や時刻、カメラデータ(しぼり値やシャッタースピード)など、表示する撮影情報を選びます(📖114)。

### テレビタイプ

ステレオビデオケーブルSTV-250N(付属)でテレビにつないで見るときに、接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

| | |
|---|---|
| 4:3ノーマルテレビ | ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。 |
| 16:9ワイドテレビ | ワイドテレビに接続するときに選ぶ。 |

- 「4:3 ノーマルテレビ」に設定しているとき、16:9で撮影した映像を再生すると、画面に表示される映像が小さくなります。

## 記録／接続設定

| 機能 | 設定内容 | 動画撮影 | 動画再生 | 静止画再生 | ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| セルフタイマー | ON 入、OFF 切 | ● | | | 102 |
| ビデオスナップ記録時間 | 2sec 2秒、4sec 4秒、8sec 8秒 | ● | ● | | 90 |
| 撮影時レーティング | ON 入、OFF 切 | ● | | | 115 |
| 動画記録 | HF R21 (内蔵メモリー)、A(カードA)、B(カードB) リレー記録：OFF、→A、→A→B、A→B | ● | | | 35 |
| | HF R200 A(カードA)、B(カードB) リレー記録：OFF、A(カードA)→B(カードB) | ● | | | 35 |
| 録画モード | MXP 高画質モード24Mbps、FXP 高画質モード17Mbps、XP+ 高画質モード12Mbps、SP 標準モード7Mbps、LP 長時間モード5Mbps | ● | | | 76 |
| フレームレート | 60i 標準(60i)、PF30 PF30、PF24 PF24 | ● | | | 78 |
| 静止画記録* | HF R21 (内蔵メモリー)、A(カードA)、B(カードB) | ● | | | 35 |
| | HF R200 A(カードA)、B(カードB) | ● | ● | | 35 |
| 静止画サイズ | 16:9 (1920×1080)、4:3 (2016×1512) | ● | | | 160 |

* 動画の場合、設定内容は適用されません。

| 機能 | 設定内容 | 動画撮影 | 動画再生 | 静止画再生 | 📖 |
|---|---|---|---|---|---|
| メモリー情報表示 | HF R21 (内蔵メモリー)、A(カードA)、B(カードB) | ● | ● | ● | 259 |
| | HF R200 A(カードA)、B(カードB) | ● | ● | ● | 259 |
| x.v.Color | ON 入 color 、OFF 切 | ● | | | 259 |
| 静止画番号* | オートリセット、通し番号 | ● | ● | ● | 260 |

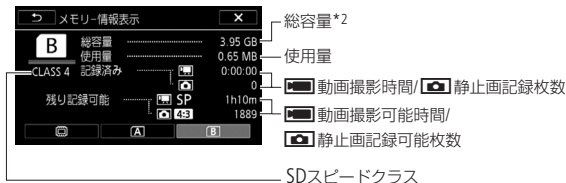
* 動画の場合、設定内容は適用されません。

ふろく

### 撮影時レーティング

撮影ごとのレーティングの「入」/「切」を選びます。

### メモリー情報表示

内蔵メモリーやカードの総容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*1、静止画の記録枚数/記録可能枚数*2を確認できます。カードの場合はSDスピードクラスも確認できます。

※ HFR21 カードの場合の画面を載せています。

*1 現在設定している動画の録画モードや静止画のサイズをもとに算出します。

*2 実際に使用できる内蔵メモリーの容量は、主な仕様に記載の容量より若干少ないことがあります。

### x.v.Color

広い色空間で動画を記録。目で見た色に近い映像を再現します。

- x.v.Colorに対応したテレビにHDMIケーブルでつないで再生するときのみ、「入」にして撮影してください。x.v.Color非対応のテレビで再生すると、色が正しく表現されないことがあります。

静止画番号

個々の静止画に付けられる番号(静止画番号)の付けかたを選びます。撮影された静止画は、自動的に101-0101、101-0102、101-0103のように順に番号が付けられ、メモリー内のフォルダーに保存されます。

| | |
|---|---|
| オートリセット | 初期化されたメモリーに記録する場合、静止画番号は常に101-0101から始まる。メモリー内にすでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。 |
| 通し番号 | 静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、メモリーに記録されている静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。 |

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーには100枚までの静止画を保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。
- 静止画番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号(上3桁)と静止画固有の番号(下4桁)を表しています*。

  * 静止画番号の範囲は、上3桁が101～998、下4桁が0101～9900です。
- 静止画が記録されたカードをパソコンで見ると、静止画番号が「101-0107」の静止画は、「DCIM￥101CANON」というフォルダーの中に「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

## システム設定

| 機能 | 設定内容 | 動画撮影 | 動画再生 | 写真再生 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| オンスクリーン表示 | ON 入、OFF 切 | ● | ● | ● | 263 |
| 言語 | 日本語、ENGLISH | ● | ● | ● | 263 |
| 液晶明るさ調整 | (暗)──(明) | ● | ● | ● | 263 |
| バックライト低輝度 | ON 入、OFF 切 | ● | ● | ● | 263 |
| 液晶対面ミラー | ON 入、OFF 切 | ● | | | 263 |
| AV/ヘッドホン | AV AV、ヘッドホン | ● | ● | ● | 106 |
| 音量 | スピーカーのとき：(小)──(大)、OFF<br>ヘッドホンのとき：(小)──(大)、OFF | <br>● | ●<br>● | ●<br>● | 106 |
| おしらせ音 | 大、小、OFF 切 | ● | ● | ● | 263 |
| デコレーション自動起動 | ON 入、OFF 切 | ● | | | 263 |
| パワーセーブ | オートパワーオフ：ON 入、OFF 切<br>クイックスタートスタンバイ：<br>切、10分、20分、30分 | ● | ● | ● | 264 |
| HF R21 初期化 内蔵メモリー/SD<br>HF R200 初期化 SD | HF R21 [(内蔵メモリー)、A(カードA)、B(カードB)]<br>初期化、完全初期化 | ● | ● | ● | 37 |
| | HF R200 [A(カードA)、B(カードB)]<br>初期化、完全初期化 | ● | ● | ● | 37 |
| エリア/サマータイム | エリア：(自宅)、(旅行先)、<br>サマータイム：ON、OFF | ● | ● | ● | 29<br>244 |

| 機能 | 設定内容 | 動画撮影 | 動画再生 | 写真再生 | 📖 |
|---|---|---|---|---|---|
| 日付/時刻 | 日付/時刻：　－<br>日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y<br>24H表示：ON、OFF | ● | ● | ● | 29 |
| バッテリー情報 | － | ● | ● | ● | 264 |
| HDMI機器制御*1 | ON 入、OFF 切 | ● | ● | ● | 264 |
| HDMI 1080p 出力*1 | ON 入、OFF 切 | ● | ● | ● | 265 |
| HDMI出力状態 | － | ● | ● | ● | 265 |
| フォーカス距離単位 | m メートル、ft フィート | ● | | | 265 |
| デモモード | ON 入、OFF 切 | ● | ● | | 265 |
| Firmware | － | | | ● | 265 |
| Eye-Fi通信*2 | A オート、OFF 切 | ● | ● | ● | 199 |

*1 HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。

*2 Eye-Fiカードをカードスロット B に入れると表示されます。

ふろく

### オンスクリーン表示

液晶画面に表示される情報を、本機に接続したテレビの画面に表示します。

### 言語

画面に表示される言語を変えます。

### 液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ☀または☀をタッチして、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

### バックライト低輝度

液晶画面の明るさを暗くします。暗所での撮影など、周囲に配慮したいときなどに使います。

- DISP.ボタンを約2秒以上押すと「切」にできます。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 「切」にすると、低輝度に設定する前の明るさに戻ります。

### 液晶対面ミラー

液晶画面をレンズ側に向けて、被写体に画面を見せながら撮るときなどは「入」にします。「入」のときは、液晶画面をレンズ側に向けたままデコレーションすることはできません。

### おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

### デコレーション自動起動

デコレーションモードの「入」/「切」を選びます。

パワーセーブ

**オートパワーオフ**

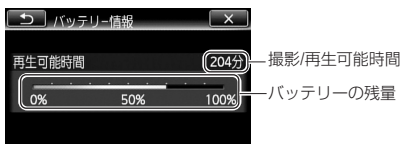
バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「❶オートパワーオフ」が表示されます。
- スタンバイ中は、「クイックスタートスタンバイ」(下記参照)の設定時間が優先されます。

**クイックスタートスタンバイ**

スタンバイ中に自動的に電源が切れる時間を設定します。「切」にするとスタンバイ状態になりません。

バッテリー情報

バッテリーの残量(%)と撮影/再生可能時間(分単位まで)を確認できます。

HDMI機器制御

HDMI機器制御機能(HDMI CEC*)対応のテレビとHDMIケーブルでつないだとき、テレビとビデオカメラの操作を連動させることができます。

- 「入」に設定した後にテレビにつなぐと、テレビ側の入力が自動的にビデオカメラを接続しているHDMI端子に切り換わり、テレビのリモコンで映像を再生できます。リモコンの▲/▼/◀/▶のボタンを押してシーンまたは静止画を選び、決定ボタンを押すと再生します。
- テレビによってはHDMI機器制御機能を有効にする必要があります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。

- HDMI機器制御機能に対応したテレビであっても、正しく操作できないことがあります。その場合は、本機の「HDMI機器制御」を「切」にして、ビデオカメラ側で操作して再生してください。
- HDMI機器制御機能は、本機が動画/静止画の見るモードの場合に使用できます。撮影時に使用すると、本機が撮影中でも、テレビの電源OFFに連動して、ビデオカメラの電源が切れることがあります。
- 同時に接続するHDMI機器は、3台以内にすることをおすすめします。

* HDMI CECとは、HDMI規格で決められた相互機器制御機能のことです。

### HDMI 1080p 出力

1080p（プログレッシブ）の信号に対応したテレビに接続すると、1080iで記録した映像を1080pに変換して出力することができます。

- HDMIケーブル(付属)で接続します。

### HDMI 出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

### フォーカス距離単位

マニュアルフォーカスでピント合わせを行うと、画面に被写体までの距離が出ます。この距離表示の単位を選びます。

### デモモード

機能紹介（デモモード）の映像を画面に表示します。

- コンパクトパワーアダプター使用時に、カードが入っていない状態で約5分経過するとデモモードとなり、機能紹介が始まります。デモモードにしない場合は、「切」に設定します。
- なんらかの操作をするとデモモードは終了します。

### Firmware

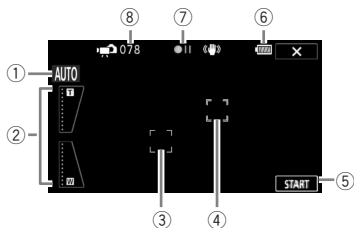
ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

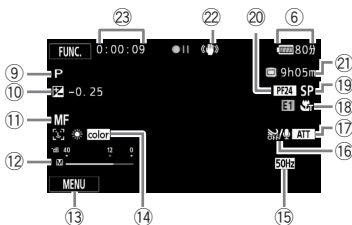
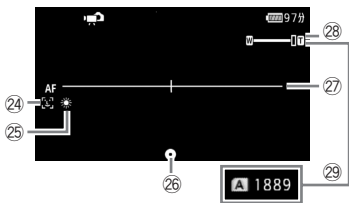
- 通常は灰色で表示されます。

# 画面の見かた

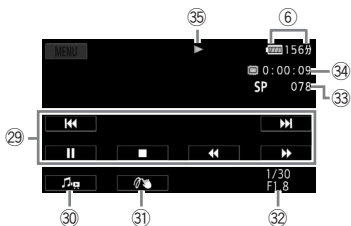
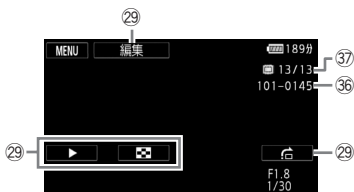
撮影中や再生中に表示される情報です。■内の数字は参照ページです。

## ■ 撮影のときの画面

こだわりオートモードのとき

① こだわりオート 42
② ズームボタン 50
③ 顔検出枠 87
④ タッチ追尾の枠 89
⑤ START/STOPボタン 43
⑥ バッテリー残量の目安 23
⑦ 撮影状況 269
⑧ 撮影シーン数

動画のとき

静止画のとき

⑨ 撮影モード 79
⑩ 露出 93
⑪ フォーカス 95
⑫ レベルメーター 104
⑬ FUNC.メニューショートカットボタン
⑭ x.v.Color 259
⑮ フリッカー低減 254
⑯ ウィンドカット 254
⑰ マイクアッテネーター 255
⑱ テレマクロ 98
⑲ 録画モード 76
⑳ フレームレート 78
㉑ 撮影可能時間 269
㉒ 手ブレ補正 83
㉓ 記録時間
（時：分：秒）
㉔ フェイスキャッチ&追尾 87
㉕ ホワイトバランス 100
㉖ ピント・露出の固定状態 44
㉗ マーカー 254
㉘ ズーム 49
㉙ 静止画の記録可能枚数 269

## ■ 再生のときの画面

動画のとき（操作ボタン表示時）

静止画のとき（操作ボタン表示時）

㉙ 操作ボタン 62
㉚ BGMバランス／
スピーカー音量 62
㉛ デコレーション 141
㉜ シャッタースピード／
しぼり数値 256
㉝ 再生シーン番号
㉞ 再生時間
（時：分：秒）
㉟ 再生状況 269
㊱ 静止画番号 260
㊲ 表示枚数／
全枚数

⑦ 撮影状況 ／㉟ 再生状況

●：撮影 (録画)　●❚❚：撮影一時停止　▶：再生　❚❚：再生一時停止

▶▶：早送り　◀◀：早戻し　◂❙/❙▸：逆スロー再生／スロー再生*

◀❚❚/❚❚▶：コマ戻し／コマ送り

* 分割時、連続したコマ戻しのように再生されます。

⑥ バッテリー残量の目安

バッテリーの残量の目安をマークで、撮影または再生可能な時間を分で表示します。 が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

㉑ 撮影可能時間

メモリーに空きがなくなると、「END*」、「Ⓐ END」または「Ⓑ END」が赤く点灯し、停止します。

* HF R21 の場合。

㉙ 静止画の記録可能枚数

枚数の緑色表示は残り6枚以上、黄色表示は残り1〜5枚、赤色表示は0枚を示します。ただし、再生時はすべて緑色で表示します。記録可能枚数は記録時の状況により異なることがあります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることがあります。

# 主な仕様

## iVIS HF R21／iVIS HF R200 システム

| | |
|---|---|
| 内蔵メモリー／カード記録 | 動画：AVCHD規格<br>映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264<br>音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch<br>静止画：DCF準拠、Exif Ver2.2準拠<br>静止画圧縮方法：JPEG |
| 信号方式 | 1080/60i* |
| 記録メモリー | HF R21 内蔵メモリー（容量：32GB）、SD／SDHC／SDXCメモリーカード |
| 録画／再生時間 | HF R21 内蔵メモリー（MXP、FXP、XP+、SP、LP）：<br>約2時間55分、約4時間10分、約5時間45分、約9時間35分、約12時間15分<br>16GBメモリーカード（MXP、FXP、XP+、SP、LP）：<br>約1時間25分、約2時間5分、約2時間50分、約4時間45分、約6時間5分 |
| 撮像素子 | 1／4.85型CMOS、総画素数328万画素<br>有効画素 動画<br>光学ズーム/「手ブレ補正」がダイナミックのとき：約147万画素（全域）<br>光学ズーム/「手ブレ補正」がスタンダードのとき：約207万画素（全域）<br>アドバンストズーム/「手ブレ補正」がダイナミックのとき：約147-104万画素（望遠端）<br>アドバンストズーム/「手ブレ補正」がスタンダードのとき：約207- 104万画素（望遠端）<br>静止画（16:9）：約207万画素<br>静止画（4:3）：約241万画素 |
| 液晶画面 | 3.0型TFTワイドカラー液晶（約23万ドット）、タッチパネル |
| マイク | ステレオエレクトレットコンデンサーマイク |

*メニューの「フレームレート」を「PF24」または「PF30」に設定しているときは、60iに変換して記録します。

ふろく

| | |
|---|---|
| レンズ | f=3.0－60mm　F=1.8－3.6　光学20倍ズーム<br>35mmフィルム換算時の焦点距離<br>動画<br>光学ズーム/「手ブレ補正」がダイナミックのとき：<br>約49-980 mm<br>光学ズーム/「手ブレ補正」がスタンダードのとき：<br>約41.2-824 mm<br>アドバンストズーム/「手ブレ補正」がダイナミックのとき：<br>約49-1176 mm<br>アドバンストズーム/「手ブレ補正」がスタンダードのとき：<br>約41.2-1154 mm<br>静止画（16:9）：約41.2-824 mm<br>静止画（4:3）：約40.6-812mm |
| レンズ構成 | 8郡10枚、非球面1枚（2面）使用 |
| 焦点調整 | TTL自動焦点（TTL方式）、マニュアル調整可 |
| フィルター径 | 34mm |
| 最短撮影距離 | ワイド端1cm、ズーム全域1m（テレマクロ設定のとき：テレ端 約40cm） |
| 色温度切り換え | オート（AWB）、プリセット（太陽光、電球）、セット（白取り込み） |
| 最低被写体照度 | 0.4ルクス（ローライト（シーンモード）、シャッタースピード1/2秒時）、5ルクス（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時） |
| 推奨被写体照度 | 100ルクス以上 |
| 手ブレ補正機能 | 電子式（ダイナミックモードあり） |
| 動画サイズ | MXP/FXP：　1920×1080<br>XP+/SP/LP：　1440×1080 |
| 静止画記録サイズ | 静止画：　16:9（1920×1080）、4:3（2016×1512）<br>あとからフォト：　16:9（1920×1080） |

## 入・出力端子

| | |
|---|---|
| 映像／音声出力端子<br>（AV OUT端子） | Φ3.5 mmステレオミニジャック、1 Vp-p／75 Ω<br>－10 dBv（47 kΩ負荷時）／3 kΩ以下 |
| USB端子 | mini-B、USB2.0 Hi-Speed |
| コンポーネント出力端子<br>（COMPONENT OUT端子） | Y：1 Vp-p、75 Ω<br>PB/PR：±350 mV、75 Ω<br>D3（1080i）対応、出力のみ、特殊D端子 |

| | |
|---|---|
| HDMI OUT端子 | HDMIミニコネクター、出力のみ、CEC対応、x.v.Color対応 |
| ヘッドホン端子 | Φ3.5 mmステレオミニジャック（AV OUT端子兼用） |
| 外部マイク入力端子 | Φ3.5 mmステレオミニジャック、−57 dBV（600 Ωマイク使用時）／5 kΩ以上 |

## 電源その他

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | DC3.7 V（バッテリーパック）、DC5.3 V（DC IN） |
| 消費電力（SPモード、AF合焦時） | 約2.5 W（明るさ標準） |
| 動作温度 | 約0 ℃～＋40 ℃ |
| 外形寸法 | 約60×61×121mm（グリップベルトを含まず） |
| （幅×高さ×奥行き） | |
| 撮影時総質量 | 約310 g（バッテリーパックBP-110、SDメモリーカード、グリップベルト含む） |
| 本体質量 | 約270 g（グリップベルトを含まず） |

## コンパクトパワーアダプター　CA-110

| | |
|---|---|
| 電源 | AC 100 V－240 V、50／60 Hz |
| 出力／消費電力 | 公称DC5.3 V、1.5A／17VA（AC100V）～ 23VA（AC240V） |
| 使用温度 | 約0 ℃～＋40 ℃ |
| 外形寸法（幅×高さ×奥行き） | 約49×27×79 mm |
| 本体質量 | 約110 g |

## バッテリー　BP-110

| | |
|---|---|
| 使用電池 | リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー） |
| 使用温度 | 約0 ℃～＋40 ℃ |
| 公称電圧 | DC3.7 V |
| 容量 | 1120 mAh（公称）<br>3.9Wh／1050 mAh（最小） |
| 外形寸法（幅×高さ×奥行き） | 約33×10×51 mm |
| 質量 | 約28g |

## バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリーBP-110をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

### 内蔵メモリーに記録時 HF R21

| 録画モード | 使用時間 | BP-110 |
|---|---|---|
| MXP | 連続撮影時間 | 1時間20分 |
| | 実撮影時間 | 50分 |
| | 再生時間 | 2時間10分 |
| FXP | 連続撮影時間 | 1時間20分 |
| | 実撮影時間 | 50分 |
| | 再生時間 | 2時間15分 |
| XP+ | 連続撮影時間 | 1時間25分 |
| | 実撮影時間 | 50分 |
| | 再生時間 | 2時間15分 |
| SP | 連続撮影時間 | 1時間25分 |
| | 実撮影時間 | 50分 |
| | 再生時間 | 2時間15分 |
| LP | 連続撮影時間 | 1時間25分 |
| | 実撮影時間 | 55分 |
| | 再生時間 | 2時間20分 |

### メモリーカードに記録時 HF R21 / HF R200

| 録画モード | 使用時間 | BP-110 |
|---|---|---|
| MXP | **連続撮影時間** | 1時間20分 |
| | **実撮影時間** | 45分 |
| | **再生時間** | 2時間10分 |
| FXP | **連続撮影時間** | 1時間20分 |
| | **実撮影時間** | 45分 |
| | **再生時間** | 2時間10分 |
| XP+ | **連続撮影時間** | 1時間20分 |
| | **実撮影時間** | 45分 |
| | **再生時間** | 2時間10分 |
| SP | **連続撮影時間** | 1時間20分 |
| | **実撮影時間** | 45分 |
| | **再生時間** | 2時間10分 |
| LP | **連続撮影時間** | 1時間25分 |
| | **実撮影時間** | 50分 |
| | **再生時間** | 2時間10分 |

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

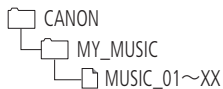
**バッテリーは予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください**

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

## 音楽ファイルについて

本機でビデオスナップなどに使う音楽は以下の形式です。
サンプリング周波数：48kHz
音声形式：リニアPCM
量子化ビット数：16bit
チャンネル数：2
再生時間：1秒以上
データ形式：WAV

フォトアプリケーション Ver.35 / 音楽データ/画像ミックスデータディスク
└ MUSIC

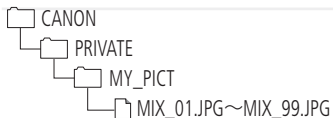
音楽ファイルはパソコンで見ると、以下のように保存されます。

## 画像ファイルについて

本機でデコレーションなどに使う画像は以下の形式です。
サイズ：1920×1080
データ形式：ベースラインJPEG
サンプリング比：4:2:2 または 4:2:0

画像ファイルは、パソコンから以下の場所に保存します。

内蔵メモリーのとき

CANON
└ MY_PICT
  └ MIX_01.JPG～MIX_99.JPG

SDメモリーカードのとき

## Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

iVIS HF R21／iVIS HF R200 は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
iVIS HF R21／iVIS HF R200 は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# さくいん

## マ行



## ヤ行



## ラ行



## そのほか

## 商標について

- SD／SDHC／SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- 「x.v.Color」および「x.v.Color」ロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- YouTubeはGoogle Inc.の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

## MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C.,（250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA）から取得可能です。

## MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

# 保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

## 保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

## アフターサービス

### 製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

### 修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

### アフターサービス期間について

- ビデオカメラのアフターサービス期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

### 修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

# 修理について

## ■ 修理に出すまえに

- 修理によっては、内蔵メモリーの初期化・交換をすることがあり、その場合、記録データはすべて消去されます。修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、不具合症状の再現·確認のために、必要最小限の範囲でメモリー内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製·保存することはありません。

## ■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

**050-555-99077**（全国共通）

平日・土曜日 9:00～18:00

日曜日、祝日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、型名「iVIS HF R21／iVIS HF R200」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

## ビデオカメラの使いかた
## フォトアプリケーションの使いかた

キヤノン お客様相談センター

**050-555-90003** （全国共通）

平日 9:00〜20:00／土日祝日* 10:00〜17:00

*1月1日〜1月3日を除く

※上記番号をご利用できない場合は**043-211-9394**をご利用ください。

## PIXELA社製Transfer Utilityの使いかた
## PIXELA社製VideoBrowserの使いかた

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

**0120-727-231**

10:00〜18:00（年末年始、祝日を除く）

※携帯電話・PHSをお使いの場合やフリーダイヤルをご利用になれない場合は**06-6633-2990** (FAX 06-6633-2992)をご利用ください。

DIJ0360000

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■ デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/ivis

■ キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■ CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-0360-000 

本書の内容は2011年1月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。